

# 消防年報

令和2年版

100

中津市消防本部



## はじめに

この消防年報は、中津市消防本部の現勢と令和2年中の消防に関する諸般の事項を収録し、今後の消防行政運営上の参考資料に資するために編さんしたものです。

尚、統計については原則として暦年、予算関係については会計年度とし、表中に年月を明示したものについては、その時点での現況としています。

令和3年6月

中津市消防本部

## 目 次

### I 地勢及び情勢

1. 管内の概況	1-1
2. 地域別の人口、世帯数、面積	1-2
3. 地域の年齢区分別人口	1-3
4. 年齢区分別割合	1-3
5. 沿革	1-4
6. 歴代消防長	1-9

### II 中津市の消防体制

1. 消防機関の所在地	2-1
2. 消防本部組織構成図	2-2
3. 事務分掌	2-3
4. 出動区分表	2-8
5. 車両の配置状況一覧表	2-9
6. 主要機械器具の配置状況	2-10
7. 消防水利の現有状況	2-12
8. 消防水利の調査状況	2-12
9. 消防団の組織	2-13
10. 方面団別消防団員実員数	2-14
11. 方面団別及び年齢別消防団員数	2-14
12. 消防団車両の配置状況	2-15
13. 消防団の通信機器配備状況	2-16
14. 消防団の主要な機械器具配置状況	2-16

### III 総 務

1. 一般会計予算と消防費	3-1
2. 消防費予算（常備・非常備別）	3-1
3. 消防費予算額と世帯、人口当たりの額	3-1
4. 職員の年齢構成	3-2
5. 職員の勤続年数	3-2
6. 職員の配置状況	3-3
7. 職員の各種資格免許取得状況	3-4
8. 庁舎の現況	3-5
9. 相互応援協定締結状況	3-6

### IV 予防・危険物

1. 予防概要（防火対象物の推移）	4-1
2. 管内地域別防火対象物の現況	4-2
3. 消防用設備等点検結果報告書の届出が必要な対象物	4-3
4. 消防同意件数	4-4
5. 中高層建築物	4-5
6. 防火管理者選任を必要とする対象物	4-6
7. 各種届出事務処理状況	4-7

8.	危険物製造所等の施設数	4-8
9.	危険物事務処理状況	4-9
10.	火薬類消費許可申請事務処理状況	4-9
V 通信指令		
1.	通信指令室の概要	5-1
2.	119番件数	5-2
3.	緊急通報システムの月別受信状況	5-3
4.	緊急通報システムの地域別受信状況	5-3
5.	指令システム主要設備	5-4
VI 火 災		
1.	火災概要	6-1
2.	年次別火災統計	6-2
3.	出火原因	6-3
4.	月別火災発生件数	6-3
5.	地域別の火災発生状況及び被災状況	6-4
6.	時間帯別出火件数	6-5
7.	曜日別出火件数	6-5
VII 救 急		
1.	救急概要	7-1
2.	過去10ヶ年救急出動件数の推移状況	7-2
3.	地域別救急出動件数	7-2
4.	救急出動件数	7-3
5.	救急搬送人員	7-3
6.	月別出動件数	7-4
7.	時間帯別出動件数	7-4
8.	曜日別出動件数	7-5
9.	覚知別出動件数	7-5
10.	年齢別搬送人員	7-6
11.	傷病程度別搬送人員	7-6
12.	医療機関別搬送人員	7-6
13.	現場到着までの所要時間	7-7
14.	医療機関収容までの所要時間	7-7
15.	救急隊員が行った応急処置	7-8
VIII 救助・指導		
1.	救助概要	8-1
2.	月別救助出動件数	8-2
3.	地域別救助出動件数	8-2
4.	発生場所別救助活動状況	8-3
5.	訓練等指導状況	8-3



---

---

# I 地勢及び情勢

---

---





## 管内の概況

中津市は、大分県の西北端に位置し、東は宇佐市、南西は玖珠郡・日田市、北西は福岡県に接し、北東は周防灘に面しています。

面積は491.44k㎡で、市域の約80%は山林原野が占め、山国川下流の平野部にまとまった農地が開け、中津地域を中核としています。北部は狭く、南部は西方に大きく張り出した形状を示し、西側に英彦山がそびえ地域を貫流する山国川の分水嶺となっています。

主要交通網は、市内を東西に走っているJR日豊本線があり、道路は平成27年3月1日に開通した東九州自動車道、国道10号・213号・496号・500号及び県道中津高田線が東西に走り、また国道212号が中津市を起点として管内を縦断しています。

気候は、瀬戸内海気候区に属し、比較的温暖な地域であるが、冬は北九州方面や関門海峡からの季節風の影響で、曇りの日が多くなっています。

令和2年の平均気温は16.6℃、年間降水量は中津観測所が2,016.5mm、耶馬溪観測所が2,518.0mmで、山間部は平地部に比べ降水量が多くなっています。



## 地域別の人口、世帯数、面積

(令和3年3月31日現在)

区分 地域別	世帯数	人 口			
		男	女	計	割合
中津地域	34,244 戸	34,352	35,959	70,311 人	84.19%
三光地域	2,224 戸	2,381	2,674	5,055 人	6.05%
本耶馬溪地域	1,298 戸	1,240	1,368	2,608 人	3.12%
耶馬溪地域	1,675 戸	1,606	1,816	3,422 人	4.10%
山国地域	1,011 戸	1,001	1,120	2,121 人	2.54%
計	40,452 戸	40,580	42,937	83,517 人	100.0%

面積

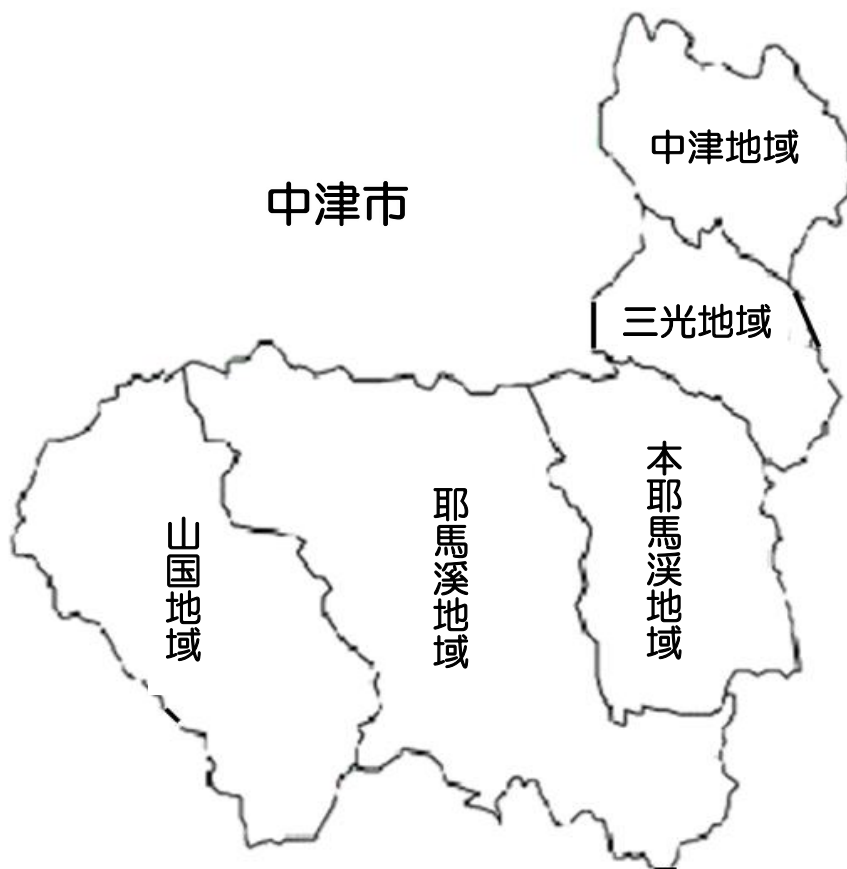
491.44km<sup>2</sup>

人口

83,517人

世帯数

40,452戸



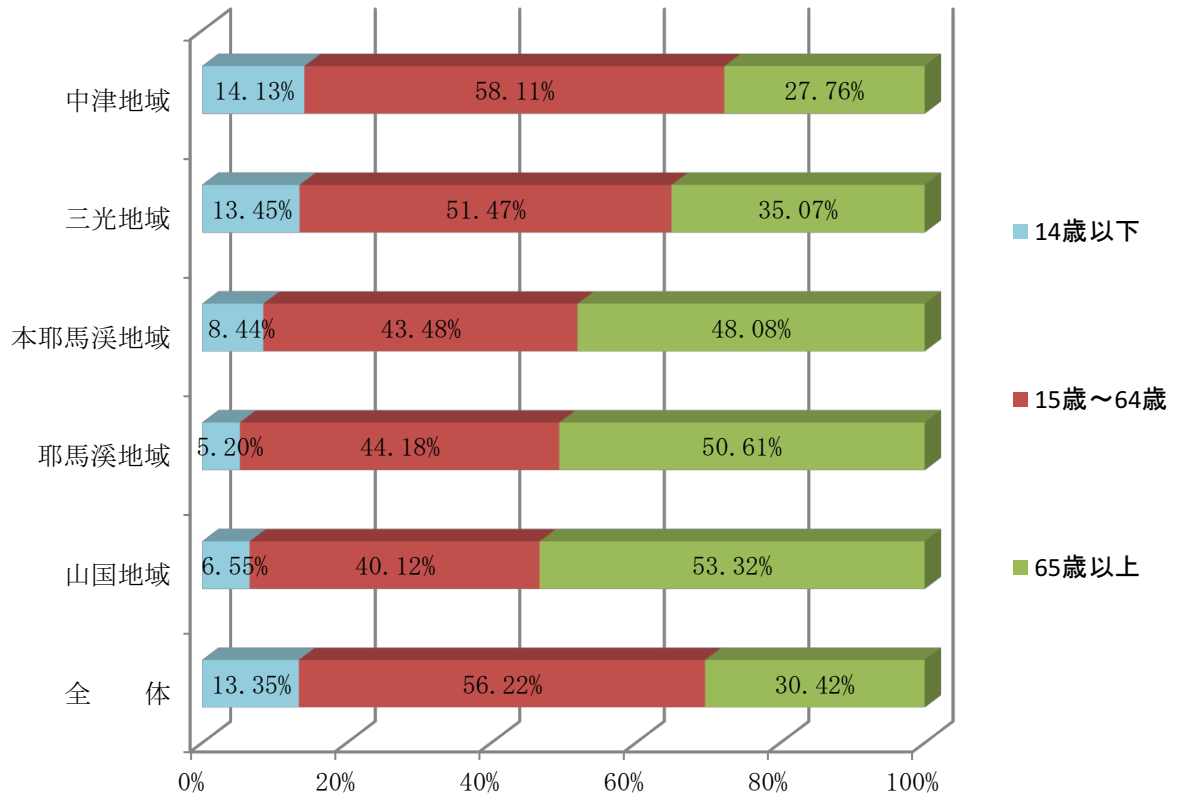


## 地域の年齢区分別人口

(令和3年3月31日現在)

地域別 区分	中津地域	三光地域	本耶馬溪 地 域	耶馬溪地域	山国地域	計
14歳以下	9,936	680	220	178	139	11,153人
15歳～ 64歳以下	40,855	2,602	1,134	1,512	851	46,954人
65歳以上	19,520	1,773	1,254	1,732	1,131	25,410人
人 口	70,311人	5,055人	2,608人	3,422人	2,121人	83,517人

## 年齢区分別割合



# 沿 革

昭和12年 4月	中津市夜間常備消防部発足実動（普通ポンプ車…1台、部員…11人）
昭和16年10月	大暴風雨により北門橋、小祝橋流失
昭和17年 9月	風水害により米山新開堤防決壊
昭和18年 4月	中津市常備消防部発足実動（普通ポンプ車…1台、部員…18人）
11月	耶馬溪羅漢寺本堂火災
昭和19年 9月	大豪雨による被害 (山国川が大洪水となるなど、旧市内全般家屋浸水など被害を受け、小祝橋再流失)
昭和25年 9月13日	キジア台風襲来 (市内海岸沿い地域の堤防決壊、田畑の冠水など甚大な被害を及ぼす。罹災者約3,600名)
昭和26年10月14日	ルース台風襲来 (海岸堤防19ヵ所決壊、冠水田畑、流失田畑、計1,263町歩被害を及ぼす。罹災者9,396名。)
昭和27年 4月	中津市消防本部・消防署発足（普通ポンプ車…2台、職員…18人）
昭和28年 6月24日	中津市豪雨水害 (市内河川が全て氾濫し出水、道路や橋梁、堤防、各地に被害が発生、罹災者6604名)
昭和28年 9月13日	台風12号襲来（海岸堤防11ヵ所決壊、住宅被害396戸、罹災者1,946人）
昭和31年 9月 9日	台風12号襲来 (台風襲来の余波により市内永添地区で火災発生、住宅及び納屋など計17棟が全焼)
昭和32年12月 5日	中津市消防本部新庁舎落成
昭和33年 2月27日	日ノ出町火災（11棟焼損）
昭和40年 3月12日	和田区田尻の大火（住宅30棟全半焼）
昭和43年 6月	救急業務実動開始
11月20日	緑ヶ丘中学校火災（本館木造瓦葺二階建て一棟全焼）
昭和44年 4月	隣接の豊前市・吉富町・新吉富町・大平村と応援協定を締結
昭和48年 7月	隣接の三光村と応援協定を締結
昭和49年 7月	中津市と下毛郡内3町1村との広域消防発足
昭和50年 4月 1日	中津下毛広域消防本部・消防署 耶馬溪出張所開設実働 (水槽付消防ポンプ自動車1台、普通ポンプ車1台、救急車1台、広報車1台、職員数20名)
昭和51年 3月31日	大分県常備消防相互応援協定締結
7月31日	中津下毛広域消防本部・消防署新庁舎竣工
8月 2日	旧庁舎より新庁舎に移転実動開始
昭和52年11月	本署スノーケル車配備
昭和54年11月 2日	新博多町の大火災（新博多町2丁目商店街火災） (商店9店舗、無人住宅1棟の計1,500㎡が全焼)

昭和55年 6月	本署指揮車更新
8月30日	耶馬溪町集中豪雨 (耶馬溪町が105ミリの記録的集中豪雨により、総額1億3千6百万円の被害)
昭和56年 3月	中津下毛広域消防本部・消防署の敷地取得 (5,527.73㎡)
4月	中津下毛広域消防本部・耶馬溪出張所の敷地取得 (999.87㎡)
昭和57年 2月	本署救急1号車 (日本損害保険協会より寄贈)
昭和58年 3月	耶馬溪出張所広報車更新
昭和59年 2月	本署消防1号車 (水槽付消防ポンプ自動車) 更新
8月	中津下毛広域消防本部・消防署の敷地拡張分取得 (938.00㎡)
12月	中津下毛広域消防本部・消防署の敷地拡張分取得 (307.00㎡)
昭和60年 4月28日	富士紡績(株)中津工場全焼
11月	出張所消防1号車 (水槽付消防ポンプ自動車) 更新
11月	火の用心号 (日本防火協会より寄贈)
昭和61年 8月	出張所救急車更新
昭和62年 3月	人員搬送車 (国際ソロプチミスト中津より寄贈) 消防緊急情報システム設置 訓練塔新設・竣工
昭和63年 2月	本署救助工作車配備
2月	桧原山無線中継局開設
3月	本署救急車 (日本損害保険協会より寄贈)
12月	出張所消防2号車 (ポンプ車) 更新
平成元年 2月	本署化学車更新
3月	本署車庫及び屋内訓練場増築
5月	山国無線中継局開設
12月	本署消防3号車 (ポンプ車) 更新
平成 2年 2月	救急車寄贈 (日本消防協会)
平成 3年 3月	本署事務連絡車配備
3月	中津下毛広域消防本部・消防署の敷地取得 (515.00㎡)
12月	本署消防2号車 (ポンプ車) 更新
12月 3日	三光タイヤ火災 (三光上秣にて古タイヤ6万本が燃える、翌年3月11日鎮火)
平成 4年 4月	中津下毛広域消防本部・耶馬溪出張所の敷地取得 (1,455.00㎡)
8月	本部指揮車更新
9月	出張所救急車更新

平成 6年 2月	本署梯子車配備 (35m)
2月	耶馬溪出張所車庫増築 (264.07㎡)
8月	出張所広報救急車更新
平成 7年 9月	本部・署機構改革 本部2係、署5係を置く
9月	本署救急車更新
平成 8年12月	本署消防1号車更新 (水槽付消防ポンプ自動車)
平成 9年 3月	本部査察車更新 (日本消防協会より寄贈)
6月 1日	大分県防災ヘリコプター応援協定締結
平成10年 2月	本署高規格救急車配備
4月	本署高規格救急車運用開始
平成11年 1月	本署通信指令室増築 (175.16㎡)
平成12年 3月23日	本署新通信指令室完成 (運用開始)
11月	出張所消防2号車 (ポンプ車) 更新 (日本損害保険協会より寄贈)
平成13年 1月	本部査察車更新
平成14年 1月	本署人員資器材搬送車配備
4月 1日	本部・本署・耶馬溪出張所機構改革 (本部3係、本署5係、耶馬溪出張所を分署と改称し、3係を置く)
11月	分署高規格救急車配備
平成16年 2月	分署消防1号車更新 (水槽付消防ポンプ自動車)
3月	本署救急車 (2B) 更新
平成17年 2月28日	広域市町村圏事務組合解散
3月 1日	中津市消防本部・消防署発足 (市町村合併にともない一部事務体制の変更)
3月 1日	大分海上保安部と中津市消防本部との船舶火災に関する業務協定締結
平成18年 3月	本署救助工作車Ⅱ型更新
7月 6日	大分県内におけるドクターヘリの運航に係る協定締結
平成19年12月 1日	福岡県田川地区消防組合、中津市消防相互応援協定締結
10月12・13日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練 (中津市開催)
平成20年 2月28日	本署高規格救急車更新
4月 1日	本部・本署機構改革 3課12係を置く
平成20年 6月10日	中津市、上毛町消防相互応援協定締結
7月 1日	中津市、吉富町消防相互応援協定締結
7月 1日	京築広域市町村圏事務組合、中津市消防相互応援協定締結
平成21年 4月21日	山国町小屋川地区の山林火災 (10.1ha焼損)

8月26日	本署消防2号車（ポンプ車）更新
平成22年 2月 5日	分署救急車更新（高規格救急車）
3月30日	本署指揮車更新
平成23年 2月25日	本署化学車更新（災害対応特殊化学ポンプ自動車Ⅱ型）
3月14日 ～23日	東日本大震災被災地へ緊急消防援助隊職員派遣（救助隊1隊・5名）岩手県釜石市鶴住居町
平成23年 4月18日	耶馬溪町大字深耶馬 林野火災 焼失面積：597.2a
8月27日	新博多町の建物火災（店舗、住宅 計5棟全半焼）
平成24年 1月31日	本署消防3号車（ポンプ車CD-I）更新
3月30日	大分県常備消防相互応援協定締結
4月23日	山国町守実建物火災（店舗、住宅 計13棟を焼損）
7月3日・14日	九州北部豪雨 （行方不明者1名、全壊10戸、大規模半壊5戸、半壊66戸、床上浸水304戸、床下浸水92戸）
平成25年 2月 6日	資器材搬送車（総務省消防庁より無償貸与）
4月 1日	職員条例定数の改正（100名体制から120名体制へ）
3月22日	本署消防1号車更新（水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型）
3月22日	分署消防2号車更新（ポンプ車）
5月27日	東部出張所の敷地取得（4,862㎡）
9月26日	分署広報車更新
11月20日	本署救急2号車更新（高規格救急車）
平成26年 3月 3日	消防救急デジタル無線運用開始
平成27年 2月 6日	東部出張所救急1号車購入（高規格救急車）
3月 1日	高速自動車道等における消防相互応援協定締結（大分県下10消防本部）
3月 9日	消防署東部出張所竣工式
3月 9日	高機能消防指令システム運用開始式
3月10日	消防署東部出張所開設（運用開始）
3月10日	高機能消防指令システム（運用開始）
9月 9日	本部査察2号車購入（軽自動車）
10月30日	本部査察1号車更新（軽自動車）
11月10日	本署はしご車更新（先端屈折式3.5mはしご付消防自動車） 12月7日（運用開始）
平成28年 3月24日	東部出張所太陽光発電設備等設置 太陽光発電システム 10.6kwh リチウムイオン蓄電池 19.2kwh
4月16日 ～17日	熊本地震被災地へ緊急消防援助隊職員派遣（支援隊1隊・2名、救急隊1隊・3名）
4月28日	耶馬溪分署駐車場拡張整備（681㎡）
10月31日	（株）エンルートよりドローン（Zion PG560）一式寄贈



4月28日	耶馬溪分署駐車場拡張整備 (681m <sup>2</sup> )
10月31日	(株)エンルートよりドローン (Zion PG560) 一式寄贈
平成29年 2月28日	東部出張所救助対応型水槽付ポンプ自動車購入 3月11日 (運用開始)
6月4日 ～5日	中津市耶馬溪町大字中畑 中畑山林火災 焼損面積：110a
7月5日 ～6日	九州北部豪雨 緊急消防援助隊受援 (北九州市消防局 指揮支援隊、宮崎県隊 現地被害調査)
9月29日	本署救急1号車更新 (高規格救急車) 10月2日 (運用開始)
12月 1日	本署多目的車更新 12月1日 (運用開始)
平成30年 3月17日 ～20日	中津市三光下秣 平山産業火災 堆積物 (廃材等) 焼損面積：779.58m <sup>2</sup>
平成30年 4月11日 ～23日	中津市耶馬溪町金吉地区山地崩壊災害 (住家4戸全壊、死者6名) 緊急消防援助隊受援 (福岡県隊、熊本県隊、北九州市消防局)
平成30年 7月25日 ～31日	平成30年7月豪雨被災地 (広島県) へ緊急消防援助隊職員派遣 (消火隊、支援隊延べ11名)
10月26日	分署救急車更新 (高規格救急車) 10月28日 (運用開始)
平成31年 2月22日	本署人員搬送車更新 2月28日 (運用開始)
令和2年 1月16日	119番通報における多言語三者通訳 (運用開始) 対応言語：18言語
3月24日	東部出張所災害支援車更新 3月26日 (運用開始)
5月 1日	NET119緊急通報システム (運用開始)
12月10日	分署水槽付ポンプ自動車 (A-II型) 12月13日 (運用開始)
令和3年 2月16日	消防救急デジタル無線システム中間更新
3月10日	本署救助工作車 (II型) 3月22日 (運用開始)

## 歴代消防長

歴代	氏名	在職	期間
初代	山本 貞夫	自 S50. 4. 1	至 S51. 3. 31
二代	森山 晴美	S51. 4. 1	S54. 3. 31
三代	松室 伊平	S54. 4. 1	S60. 3. 31
四代	大谷 武美	S60. 4. 1	S62. 3. 31
五代	和田 博邦	S62. 4. 1	H元. 3. 31
六代	笹原 政信	H元. 4. 1	H3. 3. 31
七代	上山 重信	H3. 4. 1	H3.12.31
八代	田中 日出賜	H4. 1. 1	H8. 3. 31
九代	友田 勝海	H8. 4. 1	H10. 3. 31
十代	園 憲一	H10. 4. 1	H16. 3. 31
十一代	松本 洋一	H16. 4. 1	H19. 3. 31
十二代	土田 憲一	H19. 4. 1	H22. 3. 31
十三代	松垣 成	H22. 4. 1	H24. 3. 31
十四代	高倉 正博	H24. 4. 1	H26. 3. 31
十五代	相良 卓紀	H26. 4. 1	H27. 3. 11
十六代	上原 茂秀	H27. 3. 12	H29. 3. 31
十七代	矢野 朝仁	H29. 4. 1	H31. 3. 31
十八代	磯野 宏実	H31. 4. 1	R2. 3. 31
十九代	恵良 嘉文	R2. 4. 1	現在に至る



---

---

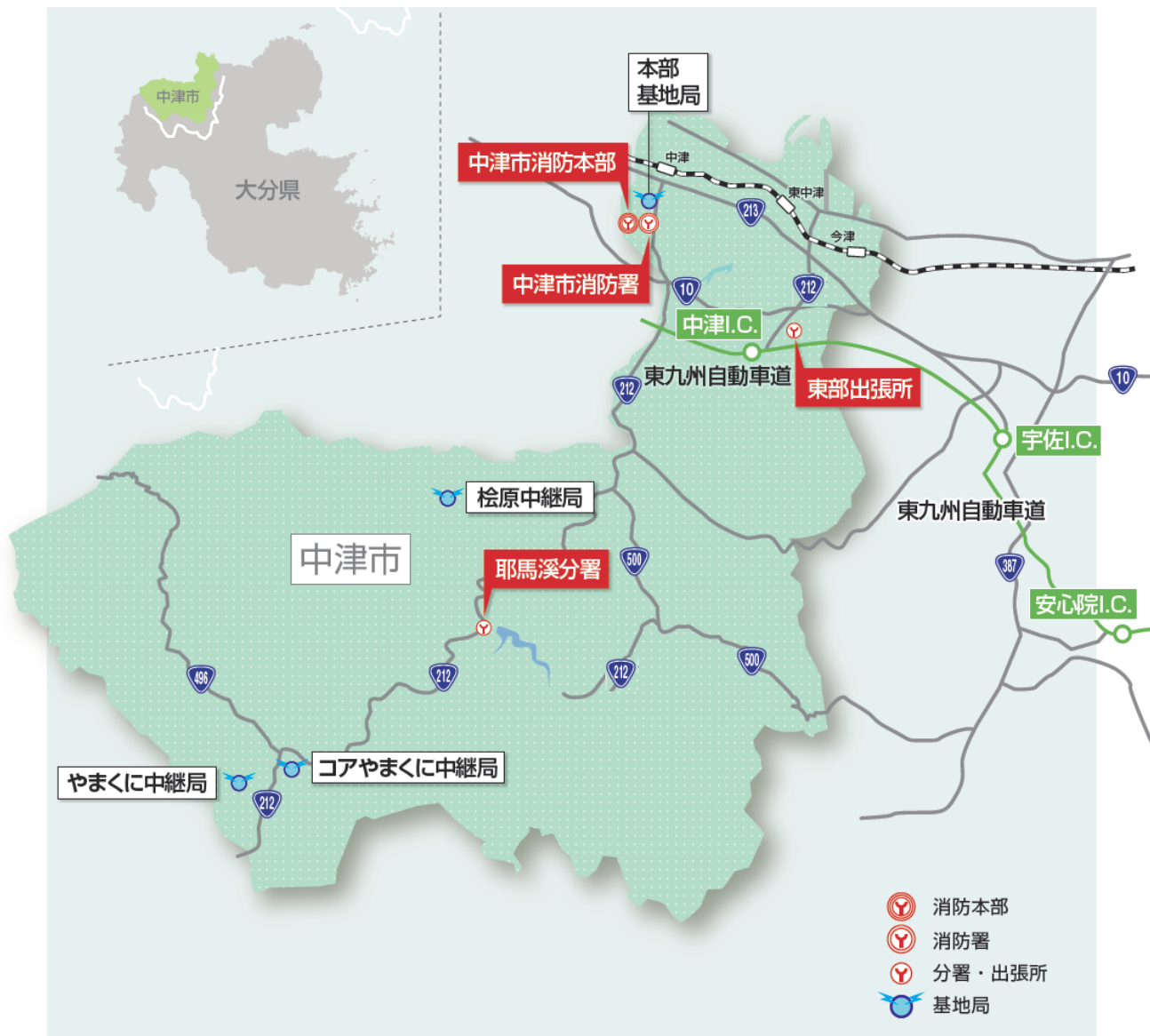
## Ⅱ 中津市の消防体制

---

---



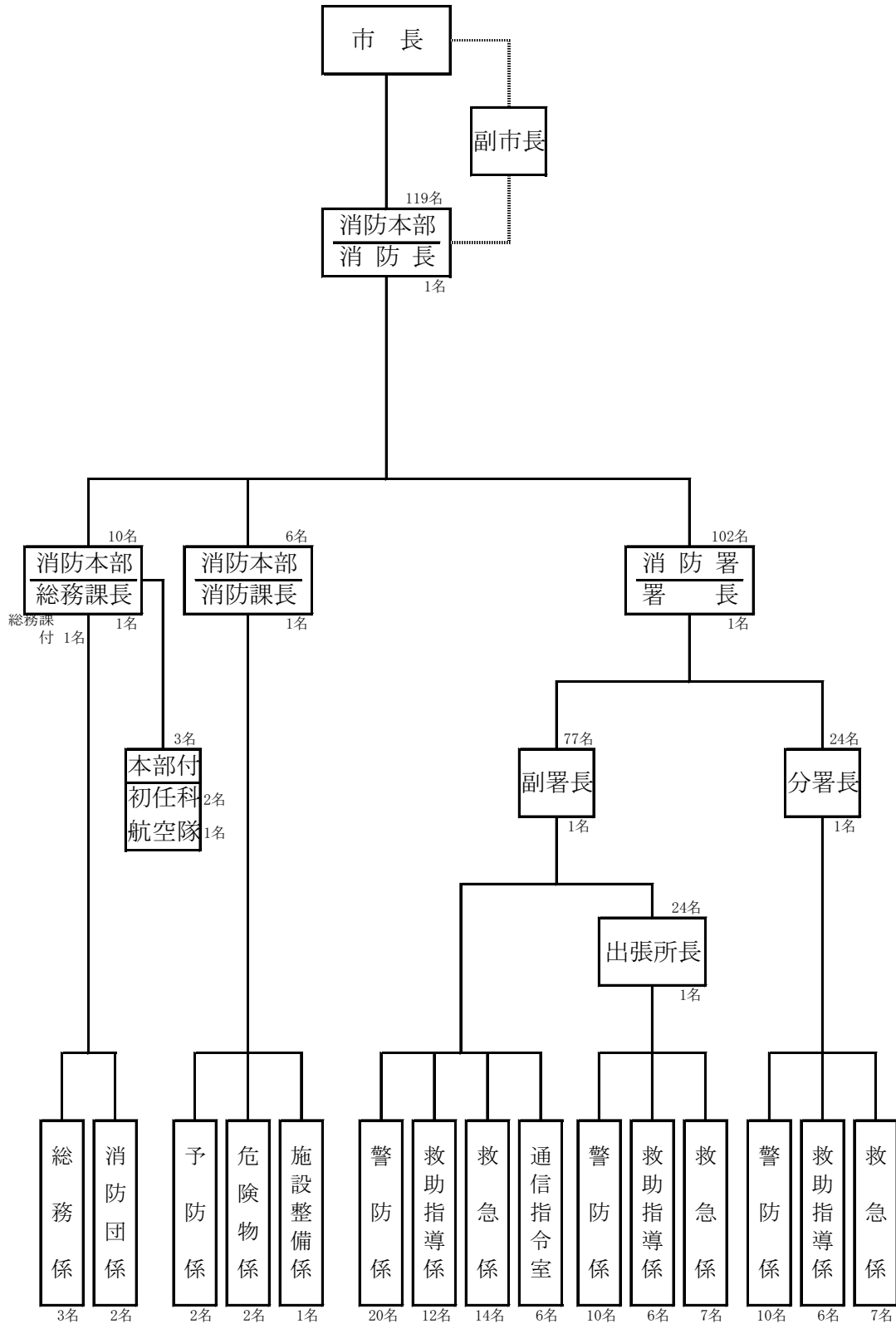
# 消防機関の所在地



名称	〒	所在地	電話番号	FAX番号
中津市消防本部	871-0027	中津市大字上宮永364番地	0979-22-0001	0979-22-4805
総務課 (総務係) (消防団係)	871-0027	中津市大字上宮永364番地	(総務係) 0979-22-9830 (消防団係) 0979-22-4800	0979-22-4805
消防課 (予防係) (危険物係) (施設整備係)	871-0027	中津市大字上宮永364番地	(予防係) 0979-22-9831 (危険物係) 0979-22-9832	0979-22-0134
中津市消防署	871-0027	中津市大字上宮永364番地	0979-22-0001	0979-22-0134
耶馬溪分署	871-0431	中津市耶馬溪町大字大島2216番地1	0979-54-2100	0979-54-2783
東部出張所	871-0223	中津市三光下秣1262番地	0979-26-9222	0979-26-9223

# 消防本部組織構成図

(令和3年4月1日現在)



※再任用職員の2名は消防署に所属するが、短時間勤務のため、職員数には含まない。

## 事務分掌

### 【 本部・総務課 】

総 務 係	1	文書の收受、編さん及び保存並びに公印の管守に関する事。
	2	規則等の制定及び改廃に関する事。
	3	消防吏員の階級、服務及び規律等人事に関する事。
	4	消防吏員の賞じゅつ金に関する事。
	5	常備消防予算の執行及び会計事務に関する事。
	6	消防職員の給与等に関する事。
	7	消防職員の衛生管理に関する事。
	8	消防吏員の給与品及び貸与品に関する事。
	9	出張等に関する事。
	10	消防庁舎及び備品の管理に関する事。
	11	消防表彰に関する事。
	12	消防職員委員会に関する事。
	13	消防の総合的企画及び調整に関する事。
	14	本部に属する公文書の公開並びに個人情報の開示、訂正及び利用停止等に関する事。
	15	他の主管に属さない事。

消 防 団 係	1	非常備消防予算の執行及び会計事務に関する事。
	2	非常備消防施設及び装備に関する事。
	3	消防団員の任免及び懲罰に関する事。
	4	消防団員の福利厚生に関する事。
	5	消防団員の公務災害補償に関する事。
	6	消防団員の退職報償金に関する事。
	7	全国消防協会等に関する事。
	8	消防水利に関する事。
	9	その他消防団に関する事。



【本部・消防課】

予 防 係	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予防査察に関する事。</li> <li>2 防火管理に関する事。</li> <li>3 建築等の消防同意に関する事。</li> <li>4 消防用設備等の指導及び検査に関する事。</li> <li>5 防火対象物定期点検報告制度に関する事。</li> <li>6 中津市火災予防条例（平成16年中津市条例第42号）に関する事（危険物及び警防に関するものを除く。）。</li> <li>7 防火対象物における火災原因調査に関する事。</li> <li>8 その他火災予防に関する事。</li> </ol>
-------------	--

危 険 物 係	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予防査察に関する事。</li> <li>2 危険物の規制に関する事。</li> <li>3 液化石油ガス等の届出に関する事。</li> <li>4 少量危険物及び指定可燃物に関する事。</li> <li>5 中津市危険物安全協会に関する事。</li> <li>6 中津市火災予防条例に関する事（危険物に関するものに限る。）。</li> <li>7 火薬類の消費等の許可に関する事。</li> <li>8 ガス用品の適合表示に関する事。</li> <li>9 危険物施設における火災原因調査に関する事。</li> <li>10 その他危険物に関する事。</li> </ol>
------------------	---

施 設 整 備 係	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 消防年報の編さんに関する事。</li> <li>2 防火思想の普及及び広報に関する事。</li> <li>3 消防通信の企画に関する事。</li> <li>4 開発行為の協議に関する事。</li> <li>5 消防施設及び機械器具の整備及び管理に関する事。</li> <li>6 その他施設整備に関する事。</li> </ol>
-----------------------	---

## 【消防署（本署）】

警 防 係	1 水火災等の警戒防ぎよ及び鎮圧に関する事。
	2 救急及び救助業務に関する事。
	3 火災統計に関する事。
	4 消防署内事務の連絡調整に関する事。
	5 消防署職員の勤務編成に関する事。
	6 消防署の公印の管守に関する事。
	7 警防調査に関する事。
	8 火災原因及び損害の調査に関する事。
	9 り災証明に関する事。
	10 中津市火災予防条例（平成16年中津市条例第42号）に関する事（警防に関するものに限る。）。
	11 相互応援に関する事。
	12 消防地理及び水利に関する事。
	13 消防通信に関する事。
	14 警防に関する届出及び文書の收受、編さん並びに保存に関する事。
	15 その他警防に関する事。

救 助 指 導 係	1 水火災等の警戒防ぎよ及び鎮圧に関する事。
	2 救急及び救助業務に関する事。
	3 救助統計に関する事。
	4 消防署職員の教養訓練に関する事。
	5 非常備消防、自主防災組織等の育成指導等に関する事。
	6 演習、消防訓練の指導及び防火教育に関する事。
	7 救助及び潜水訓練の安全管理に関する事。
	8 救命索発射銃の保安管理に関する事。
	9 消防機器及び救助資器材の管理及び研究に関する事。
	10 救助指導に関する届出及び文書の收受、編さん並びに保存に関する事。
	11 消防通信に関する事。
	12 その他救助指導に関する事。

【消防署（本署）】

救 急 係	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 水火災等の警戒防ぎよ及び鎮圧に関すること。</li> <li>2 救急及び救助業務に関すること。</li> <li>3 救急統計に関すること。</li> <li>4 救命講習に関すること。</li> <li>5 救急搬送証明に関すること。</li> <li>6 救急業務高度化推進計画及び運用に関すること。</li> <li>7 救急資器材の管理及び研究開発に関すること。</li> <li>8 救急に関する届出及び文書の収受、編さん並びに保存に関すること。</li> <li>9 消防通信に関すること。</li> <li>10 その他救急に関すること。</li> </ol>
-------------	---

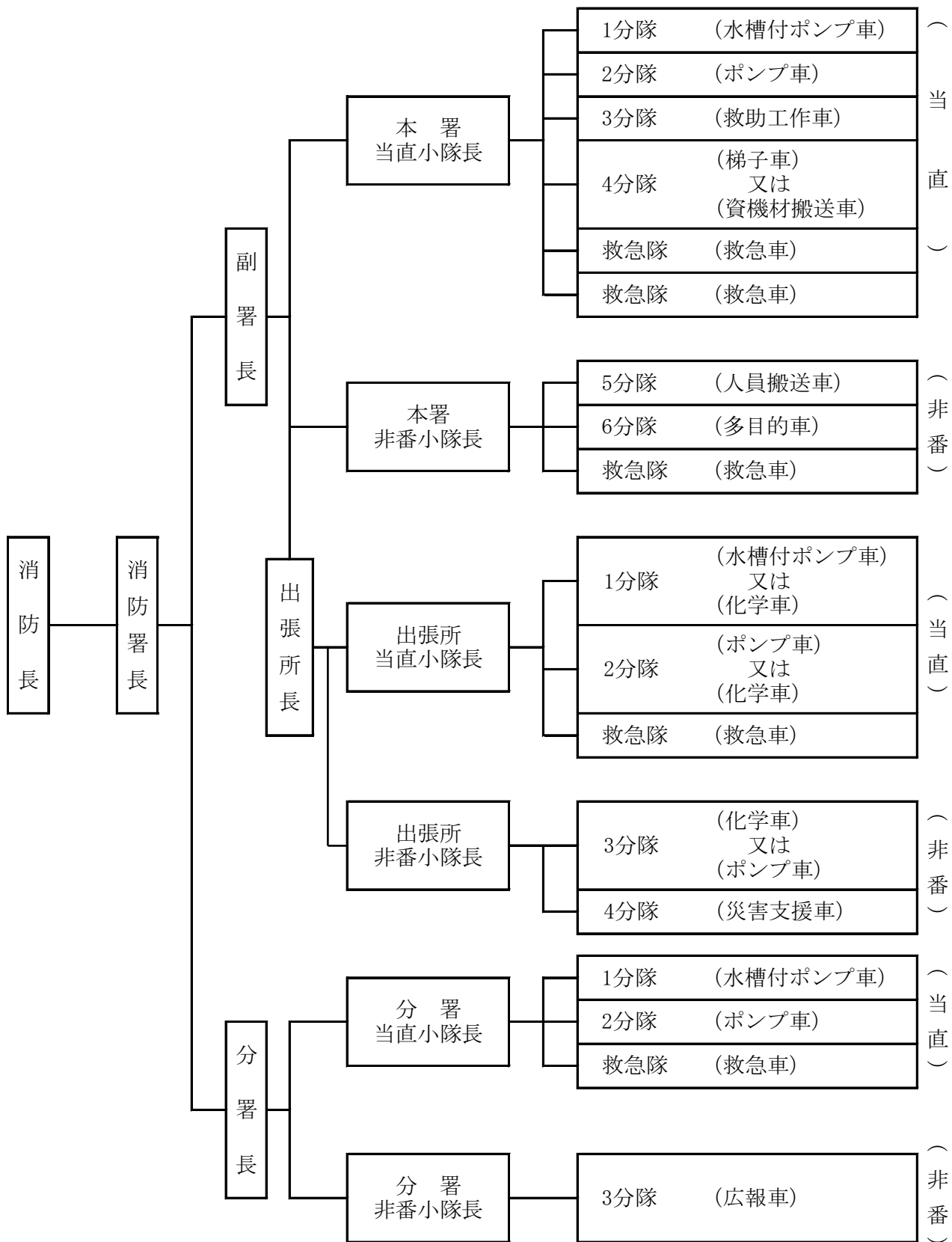
通 信 指 令 室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 水火災等の警戒防ぎよ及び鎮圧に関すること。</li> <li>2 救急及び救助業務に関すること。</li> <li>3 災害出動指令に関すること。</li> <li>4 災害情報の収集及び伝達に関すること。</li> <li>5 消防通信の運用及び管理に関すること。</li> <li>6 通信指令室及び装備の管理に関すること。</li> <li>7 災害時における関係機関への連絡に関すること。</li> <li>8 非番員の招集に関すること。</li> <li>9 気象特報水火災警報等に関すること。</li> <li>10 気象観測に関すること。</li> <li>11 消防通信に関する届出及び文書の収受、編さん並びに保存に関すること。</li> <li>12 その他消防通信に関すること。</li> </ol>
-----------------------	---

【消防署（耶馬溪分署・東部出張所）】

<p>警防係</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 水火災等の警戒防ぎよ及び鎮圧に関すること。</li> <li>2 救急及び救助業務に関すること。</li> <li>3 火災原因及び損害の調査に関すること。</li> <li>4 火災統計に関すること。</li> <li>5 所属署所内事務連絡及び署所間事務の連絡調整に関すること。</li> <li>6 職員の勤務の編成に関すること。</li> <li>7 警防調査に関すること。</li> <li>8 消防地理及び水利に関すること。</li> <li>9 消防思想の普及及び広報に関すること。</li> <li>10 庁舎及び施設の管理に関すること。</li> <li>11 警防に関する届出及び文書の收受、編さん並びに保存に関すること。</li> <li>12 その他警防に関すること。</li> </ol>
<p>救助指導係</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 水火災等の警戒防ぎよ及び鎮圧に関すること。</li> <li>2 救急及び救助業務に関すること。</li> <li>3 火災調査に関すること。</li> <li>4 救助統計に関すること。</li> <li>5 職員の教養訓練に関すること。</li> <li>6 非常備消防、自主防災組織等の育成指導に関すること。</li> <li>7 演習、消防訓練の安全管理に関すること。</li> <li>8 救助及び潜水訓練の安全管理に関すること。</li> <li>9 消防機器及び救助資器材の管理及び研究に関すること。</li> <li>10 救助指導に関する届出及び文書の收受、編さん並びに保存に関すること。</li> <li>11 その他救助指導に関すること。</li> </ol>
<p>救急係</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 水火災等の警戒防ぎよ及び鎮圧に関すること。</li> <li>2 救急及び救助業務に関すること。</li> <li>3 火災調査に関すること。</li> <li>4 救急統計に関すること。</li> <li>5 救命講習に関すること。</li> <li>6 救急業務高度化推進計画及び運用に関すること。</li> <li>7 救急資器材の管理及び研究に関すること。</li> <li>8 救急に関する届出及び文書の收受、編さん並びに保存に関すること。</li> <li>9 その他救急業務に関すること。</li> </ol>

# 出動区分表

(令和3年4月1日現在)



# 車両の配置状況一覧表

(令和3年4月1日現在)

所属	車両種別	車名	排気量	車両総重量	ポンプ 級別	水槽容量	配置年月
本部	査察車	ダイハツ	650cc	1,180kg	-	-	H27.10
	査察車	〃	〃	1,140kg	-	-	H27.9
	団本部指令車	トヨタ	1,990cc	1,445kg	-	-	H17.3
	事務連絡車	日産	1,490cc	1,445kg	-	-	H16.11
本署	水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)	日野	6,400cc	11,080kg	A-2	2,500ℓ	H25.3
	消防ポンプ自動車(CD-I)	〃	4,000cc	5,995kg	A-2	-	H21.9
	指揮車	トヨタ	2,690cc	3,070kg	-	-	H22.3
	救助工作車(Ⅱ型)	日野	5,120cc	11,985kg	-	-	R3.3
	梯子付消防自動車(35m)	日野	17,230cc	19,330kg	-	-	H27.11
	資器材搬送車	三菱	2,990cc	7,565kg	-	-	H25.2
	多目的車	日産	2,480cc	2,395kg	-	-	H29.12
	人員搬送車	日産	1,990cc	2,280kg	-	-	H31.2
	高規格救急自動車	トヨタ	2,690cc	3,255kg	-	-	H29.9
	高規格救急自動車	〃	2,690cc	3,225kg	-	-	H25.11
	高規格救急自動車(予備車)	〃	2,690cc	3,195kg	-	-	H22.1
耶馬溪分署	水槽付消防ポンプ自動車	日野	5,120cc	11,540kg	A-2	2,000ℓ	R2.12
	消防ポンプ自動車(CD-I)	〃	4,000cc	5,985kg	A-2	-	H25.3
	広報車	日産	2,480cc	3,240kg	-	-	H25.9
	高規格救急自動車	トヨタ	2,690cc	3,245kg	-	-	H30.10
	高規格救急自動車(予備車)	〃	2,690cc	3,215kg	-	-	H20.2
東部出張所	水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)	日野	8,860cc	15,060kg	A-2	3,500ℓ	H29.3
	化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)	日野	6,400cc	10,895kg	A-2	1,500ℓ	H23.2
	消防ポンプ自動車(CD-I)	〃	4,000cc	5,995kg	A-2	-	H24.2
	高規格救急自動車	トヨタ	2,690cc	3,225kg	-	-	H27.3
	災害支援車	トヨタ	2,690cc	3,180kg	-	-	R2.3



耶馬溪分署 令和2年12月 水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型 納入

# 主要機械器具の配置状況

(令和3年4月1日現在)

	品 目	本 署	分 署	出張所	合計	
消火用器具	消防ホース	65mm	104	68	84	256
		50mm	98	45	57	200
		40mm	42	18	9	69
		ジェットシューター	4	23	8	35
		クラスA消火剤(ℓ)	100	60	80	240
		クラスB消火剤(ℓ)			250	250
		発 泡 ノ ズ ル		1	5	6
		可 搬 ポ ン プ		1	1	2
一般救助用器具	か ぎ 付 は し ご	2	1		3	
	二 連 は し ご	1	1	2	4	
	三 連 は し ご	2	2	1	5	
	救 命 索 発 射 銃	1			1	
	隊 員 降 下 用 縛 帯	7	9	10	26	
	空 気 式 救 助 マ ッ ト	1			1	
切断用器具	油 圧 カ ッ タ ー		1		1	
	電 動 油 圧 カ ッ タ ー	2		1	3	
	電 動 カ ッ タ ー	1	1	1	3	
	酸 素 溶 断 器	1			1	
	チェ ー ン ・ ソ ー	2	2	2	6	
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	2			2	
	空 気 鋸	1			1	
重量物排除用器具	ロ ー ル グ リ ス	2			2	
	救 助 用 支 柱 器 具	1			1	
	重 量 物 排 除 器 具 セ ッ ト	1			1	
	高 揚 程 エ ア ー ジ ャ ッ キ			2	2	
	マ ッ ト 型 空 気 ジ ャ ッ キ セ ッ ト	2	2	1	5	
	油 圧 ス プ レ ッ ダ ー		1		1	
	電 動 油 圧 ス プ レ ッ ダ ー	1		1	2	
	電 動 油 圧 コ ン ビ ツ ー ル		1		1	
	手 動 式 油 圧 コ ン ビ ツ ー ル	1			1	
	ラ ム シ リ ン ダ ー	1			1	
	可 搬 式 ウ イ ン チ	1	1	1	3	
破壊器具	削 岩 機	1			1	
	携 帯 用 コ ン ク リ ー ト 破 壊 器 具	2			2	
	バ ッ テ リ ー 式 救 助 用 破 壊 器 具	4			4	

	品 目	本 署	分 署	出張所	合計
水難救助器具	ウェットスーツ	16	4	4	24
	ドライスーツ	5			5
	船 外 機	1			1
	救 命 ボ ー ト	2	1	1	4
	潜 水 器 具 一 式	13	3	2	18
	潜 水 用 ボ ン ベ	10	4	2	16
	救 命 浮 環	10	9	5	24
	救 命 胴 衣	89	25	27	141
	携 帯 水 中 ラ イ ト	7	1		8
高度	画像探査機（プロアイ）	1			1
呼吸保護用器具	空 気 呼 吸 器	19	10	12	41
	空 気 ボ ン ベ	45	21	26	92
	酸 素 呼 吸 器		2	2	4
	送 排 風 機	1			1
	送 風 機	1	1	1	3
隊員保護器具	耐 熱 服			2	2
	耐 電 衣	4			4
	耐 電 手 袋	4			4
	絶 縁 手 袋	18	7	6	31
	携 帯 警 報 器	16	9	11	36
	全 面 マ ス ク	10			10
	陽 圧 式 化 学 防 護 服	4			4
	化学防護服	タイケム6000	85	8	8
検知・測定用器具	有 毒 ガ ス 測 定 セ ッ ト	3			3
	ガンマ線・エックス線用線量率計	3			3
	個 人 線 量 計	15			15
	表 面 汚 染 検 査 計	2			2
	エックス線・ガンマ線空間線量計	1			1
	可 燃 性 ガ ス 測 定 器	1			1
	マルチ測定器（4種類）	3	1	1	5
搬送用器具	バ ス ケ ッ ト 担 架	3	2	1	6
	バーチカルストレッチャー		1		1
	スケッドストレッチャー	1		1	2
その他器具	投 光 器	6	8	6	20
	発 電 機	8	2	3	13
	携 帯 ラ イ ト	25	11	10	46



## 消防水利の現有状況

(令和3年4月1日現在)

区分	地区別					合計
	中津地域	三光地域	本耶馬溪地域	耶馬溪地域	山国地域	
消火栓	1,038	19				1,057
防火水槽 (40m <sup>3</sup> 以上)	110	109	104	95	62	480
その他の水利 (プール)	21	5	4	6	3	39

## 消防水利の調査状況

(令和2年中)

区分	調査箇所			合計 (回)
	本署	耶馬溪分署	東部出張所	
消火栓・防火水槽	40	38	37	115

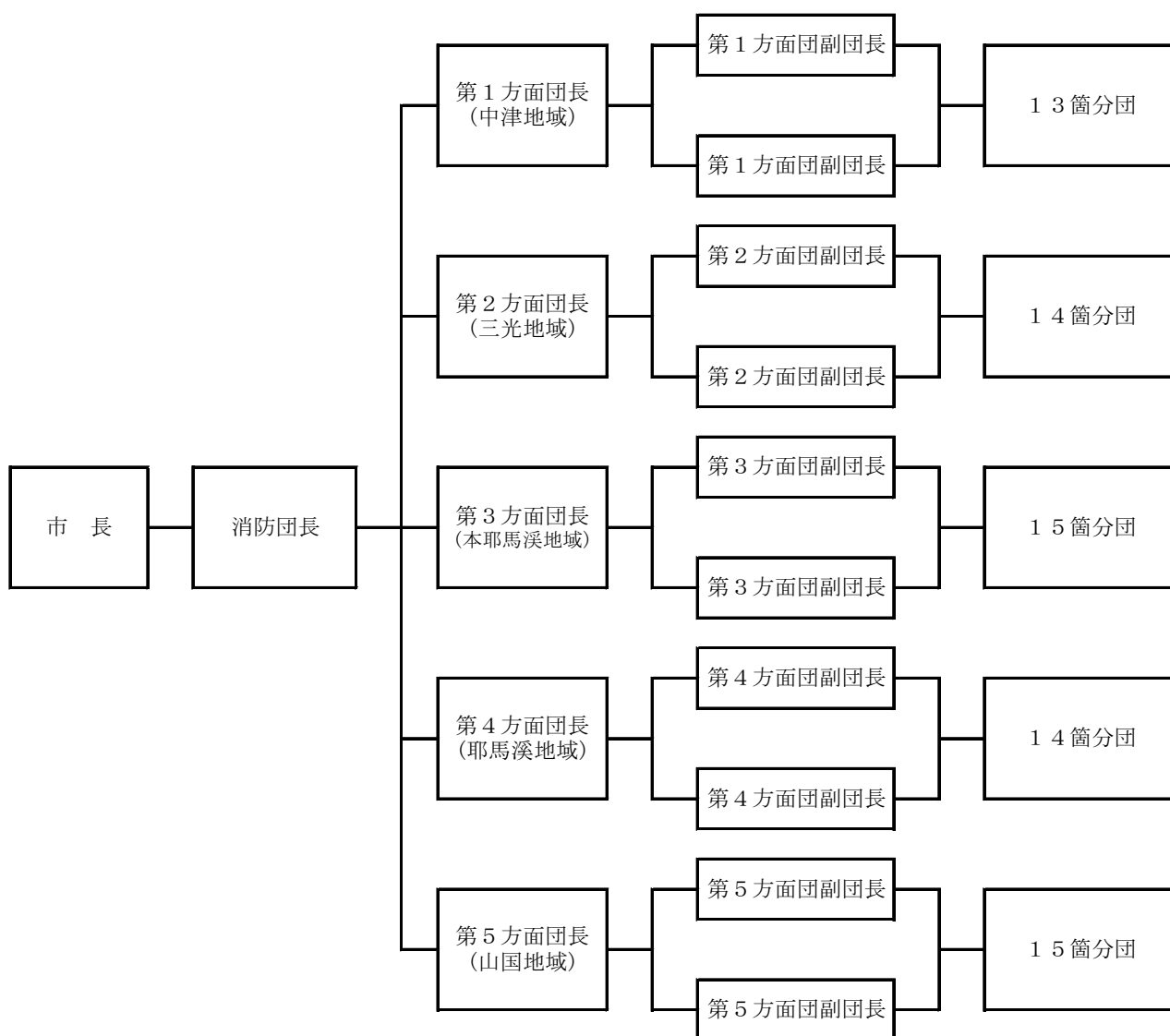


## 消防団の組織

(令和3年4月1日現在)

中津市消防団は、平成17年3月の1市3町1村の合併により、方面団制を導入し、現在5方面団、71分団、1,283人(条例定数 1,481人)の団員で組織され、消防ポンプ自動車13台、小型動力ポンプ付積載車61台を配備し、地域の安心・安全を確保するため、地域の防災の要として活動しています。また、少子高齢化に加え、団員のサラリーマン化などにより不足する昼間の消防力を補うため、平成26年4月1日から機能別消防団員制度を導入し、現員のうち284人(女性消防団員30人を含む)が機能別消防団員として活動しています。

中津市消防団組織図



## 方面団別消防団員実員状況

(令和3年4月1日現在)

	団長	方面団長	方面団副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	機能別団員	計
本部	1								32	33
第1方面団 (中津地域)		1	2	13	13	13	39	208	36	325
第2方面団 (三光地域)		1	2	22 (8)	14	14	42	151	55	301
第3方面団 (本耶馬溪地域)		1	2	18 (3)	15	15	45	46	39	181
第4方面団 (耶馬溪地域)		1	2	18 (4)	14	14	42	75	47	213
第5方面団 (山国地域)		1	2	20 (5)	15	15	45	57	75	230
計	1	5	10	91 (20)	71	71	213	537	284	1,283

※ カッコ内の数字は、専任指導員の数を示し、内数として記載。

## 方面団別及び年齢別消防団員数

(令和3年4月1日現在)

	20歳以下	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56歳以上	計
本部			5	7	5	3	1	2	10	33
第1方面団 (中津地域)	4	13	21	24	49	58	58	33	65	325
第2方面団 (三光地域)	1	4	6	29	43	40	42	44	92	301
第3方面団 (本耶馬溪地域)		0	9	12	16	26	19	21	78	181
第4方面団 (耶馬溪地域)	2	3	5	22	25	25	28	27	76	213
第5方面団 (山国地域)		1	9	15	22	30	20	20	113	230
計	7	21	55	109	160	182	168	147	434	1,283

## 消防団車両の配置状況

(令和3年4月1日現在)

区分 方面団名	消防ポンプ 自動車	小型動力ポンプ付 積載車	計
第1方面団 (中津地域)	13		13
第2方面団 (三光地域)		14 (1)	14 (1)
第3方面団 (本耶馬溪地域)		15 (1)	15 (1)
第4方面団 (耶馬溪地域)		14	14
第5方面団 (山国地域)		15 (1)	15 (1)
計	13	58 (3)	71 (3)

※ カッコ内の数字は、各支所の職員で組織する消防班の車両台数を示し、消防団配置の数に含まない。



令和3年2月16日 中津市消防団第5方面団（消防小型ポンプ付積載車 5台）引渡式

## 消防団の通信機器配備状況

(令和3年4月1日現在)

	消防無線 (デジタル)		IP無線機 (双方向)		簡易トランシーバー
	携帯無線機	受令機	携帯型	車載型	
団本部	1		2	2	
第1方面団 (中津地域)	3	13	4	13	39
第2方面団 (三光地域)	3	14 (1)	4	14 (1)	42 (3)
第3方面団 (本耶馬溪地域)	3	15 (2)	4	15 (2)	45 (6)
第4方面団 (耶馬溪地域)	3	14	4	14	42
第5方面団 (山国地域)	3	15 (1)	4	15 (1)	45 (3)
計	16	71 (4)	22	73 (4)	213 (12)

※ カッコ内の数字は、各支所の職員で組織する消防班に配備の無線機の数を示し、消防団配備の数に含まない。

## 消防団の主要な機械器具配置状況

(令和3年4月1日現在)

	救命胴衣	チェーンソー	発電機	背負い式水のう
団本部	5			
第1方面団 (中津地域)	107		13	13
第2方面団 (三光地域)	121	1	14	69
第3方面団 (本耶馬溪地域)	134		16	64
第4方面団 (耶馬溪地域)	129	1	15	60
第5方面団 (山国地域)	127		15	75
計	623	2	73	281

---

---

# Ⅲ 総務

---

---



一般会計予算と消防費（当初予算（歳出））

（単位：千円）

一般会計予算との割合	一般会計予算	消防費	割合
	41,603,262	1,490,433	3.58%

消防費予算（当初予算（歳出））

（単位：千円）

款	項	令和2年度	令和3年度
消 防 費	常 備 消 防 費	1,175,583	1,151,780
	非 常 備 消 防 費	267,947	227,661
歳 出 合 計		1,443,530	1,379,441

消防費予算額と世帯、人口当たりの額（当初予算（歳出））

（世帯数、人口は各年度の4月1日現在の数）

費用 年度	予 算 額 (円)	世帯数 (戸)	1世帯あたり (円)	人 口 (人)	1人あたり (円)
令和2年度	1,443,530,000	40,170	35,936	83,852	17,215
令和3年度	1,379,441,000	40,452	34,101	83,517	16,517



## 職員の年齢構成

(令和3年4月1日現在)

階級 年齢	消防 監	司令 長	司令	司令 補	士 長	副 士 長	消防 士	職再 任用	計	比 較 (%)
50歳以上	1	3	12	3				(2)	19	16.0%
45～50歳未満				17					17	14.3%
40～45歳未満				5	2				7	5.9%
35～40歳未満					14	3			17	14.3%
30～35歳未満					9	14			23	19.3%
25～30歳未満						20	5		25	21.0%
20～25歳未満							9		9	7.6%
18～20歳未満							2		2	1.7%
計	1	3	12	25	25	37	16	(2)	119	100%
全職員の平均年齢 36.42歳										

※ 再任用職員2名は短時間勤務であるため、職員数及び平均年齢には含まない。

## 職員の勤続年数

(令和3年4月1日現在)

階級 年数	消防 監	司令 長	司令	司令 補	士 長	副 士 長	消防 士	職再 任用	計	比 較 (%)
30年以上	1	2	9	4					16	13.4%
25～30年未満			2	16					18	15.1%
20～25年未満				2					2	1.7%
15～20年未満				2	3				5	4.2%
12～15年未満					13	1			14	11.8%
9～12年未満					9	4			13	10.9%
6～9年未満						26	5		31	26.1%
3～6年未満		1				4	4		9	7.6%
3年未満			1	1		2	7	(2)	11	9.2%
計	1	3	12	25	25	37	16	(2)	119	100%

※ 再任用職員2名は短時間勤務であるため、職員数及び平均年齢には含まない。

## 職員の配置状況

(令和3年4月1日現在)

階級別 区分	消 防 監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	再 任 用 職 員	計
消 防 本 部	1	2	2	5	3	2	2	(2)	17
消 防 署 (本 署)		1	4	9	13	19	8		54
消 防 署 (分 署)			3	7	3	10	1		24
消 防 署 (出 張 所)			3	4	6	6	5		24
計	1	3	12	25	25	37	16		119

※ 再任用職員2名は短時間勤務のため、職員数には含まない。



令和2年度大分県国民保護共同実動訓練の様子

職員の各種資格免許取得状況

(令和3年4月1日現在)

区分		階級		消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	計		
		実数												
実数				1	3	12	25	27(2)	37	16		121		
自動車関係	大型自動車			1	2	11	21	27(2)	33	6		101(2)		
	中型自動車	11t未満					1					1		
		8t限定			1	1	3					5		
	準中型自動車	7.5t未満								1			1	
		5t限定								3	4		7	
	普通自動車									1	6		7	
	自動二輪				1	1	4	11	17(1)	5	4		43(1)	
救急	救急救命士					6	9	8	6	2		31		
	救急Ⅰ課程							1				1		
	救急Ⅱ課程				1	2	1		1				5	
	救急標準課程						3	4					7	
	救急科						1	12	19	29	4		65	
	応急手当指導員				1	2	11	24	26(1)	35	6		105(1)	
無線	特殊無線技師				1	3	11	24	27(2)	36	10		112(2)	
	アマチュア無線技師					1	3	2					6	
危険物	危険物取扱者免許甲種							1	1				2	
	危険物取扱者免許乙種						1	9	7	4	2		23	
	危険物取扱者免許丙種									1			1	
設備士	消防設備士甲種						1	1	1				3	
	消防設備士乙種						1	1	2	1			5	
救助	免許	潜水士				1	5	11	13	13	2		45	
		小型船舶操縦士			1	1	3	14	9	6			34	
	技能講習	玉掛け					1	6	13	16(1)	13	1		50(1)
		小型移動クレーン					1	3	13	14	13	1		45
		酸素欠乏危険作業主任			1	2	11	23	24(1)	4				65(1)
		高所作業車								6	10	1		17
	特別教育	チェーンソー			1	1	2	13	7					24
		巻き上げ					1	7	20	25(1)	28	4		85(1)
		救助科			1	1	7	14	12(1)	3				38(1)
	入校	梯子科			1	1	8	10	5(1)	2				27(1)
専門員	消防用設備等専門員					1	1	2	6	2			12	
	防火査察専門員					1	2	6	11	7	1		28	
	危険物専門員						2	3	4				9	

\* ()内の数字は再任用職員を表示

## 庁舎の現況

(令和3年4月1日現在)



消防本部・消防署	
構 造	鉄筋コンクリート造2階建て
敷地面積	7,358.73㎡
床面積	1,978.15㎡
建築年月	昭和51年 7月
職員数	72名 (本部付職員を含む)
車両台数	15台



耶馬溪分署	
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建て
敷地面積	3,171.75㎡
床面積	567.12㎡
建築年月	昭和50年 3月
職員数	24名
車両台数	5台



東部出張所	
構 造	鉄筋コンクリート造2階建て
敷地面積	4,686.00㎡
床面積	988.93㎡
建築年月	平成27年 2月
職員数	24名
車両台数	5台

## 相互応援協定締結状況

(令和3年4月1日現在)

協定名称	締結市町村名等	締結の内容	締結年月日
大分県常備消防相互応援協定	大分県下14消防本部	火災・救急・救助・ その他災害について	平成24年 3月30日
大分県防災ヘリコプター応援協定	大分県・大分県下14消防本部	火災・救急・救助・ その他災害について	平成 9年 6月 1日
大分海上保安部と中津市消防本部との船舶火災に関する業務協定	大分海上保安部	船舶火災について	平成17年 3月 1日
大分県内におけるドクターヘリの運航に係る協定	大分県、福岡県	救急について	平成18年 7月 6日
福岡県田川地区消防組合、中津市消防相互応援協定	福岡県田川地区消防組合	火災・救急・救助・ その他災害について	平成19年12月 1日
中津市、上毛町消防相互応援協定	上毛町（福岡県）	火災・救急・救助・ その他災害について	平成20年 6月10日
中津市、吉富町消防相互応援協定	吉富町（福岡県）	火災・救急・救助・ その他災害について	平成20年 7月 1日
京築広域市町村圏事務組合、中津市消防相互応援協定	京築広域市町村圏事務組合 (福岡県)	火災・救急・救助・ その他災害について	平成20年 7月 1日
京築広域市町村圏事務組合、中津市消防相互応援協定に基づく東九州自動車道に関する覚書	京築広域市町村圏事務組合 (福岡県)	高速道路上での 火災・救急・救助・ その他災害について	平成27年 2月25日
高速自動車道等における消防相互応援協定	大分県下10消防本部	高速道路上での 火災・救急・救助・ その他災害について	平成27年 3月 1日

---

---

## IV 予防・危険物

---

---



## 予防概要

防火対象物とは、火災予防の目的を達成するために法規制を加える必要のあるものについて、下表（消防法施行令別表第1）のとおり種類、又は用途により1項から20項までに分類される。

管内の防火対象物の総数（令和3年3月31日現在）は、3,530棟で前年の3,505棟に対して25件の増となっている。建築同意の件数は、前年度108件に対して今年度は70件で38件の減となっている。

管内の危険物施設の総数（令和3年3月31日現在）は、243施設で、そのうち製造所1施設、貯蔵所140施設、取扱所102施設を有している。

## 防火対象物の推移

対象物の種類		平成30年3月31日	平成31年3月31日	令和2年3月31日	令和3年3月31日
1	イ 劇場・映画館等	8	8	9	9
	ロ 公会堂・集会場	88	89	90	88
2	イ キャバレー・ナイトクラブ等				
	ロ 遊技場・ダンスホール	16	16	16	15
	ハ 性風俗関連特殊営業を含む店舗等				
	ニ カラオケボックス等	4	4	4	4
3	イ 待合・料理店	9	9	5	5
	ロ 飲食店	95	98	124	123
4	百貨店・マーケット	172	169	169	164
5	イ 旅館・ホテル等	27	92	91	91
	ロ 寄宿舎・共同住宅	893	900	911	920
6	イ 病院・診療所	72	70	74	73
	ロ 老人短期入所施設等	47	49	50	53
	ハ 老人デイサービスセンター等	92	102	110	114
	ニ 幼稚園・特別支援学校	17	17	16	17
7	小中学校等各種学校	130	129	129	129
8	図書館・博物館・美術館	13	13	12	12
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場				
	ロ 公衆浴場	8	8	8	8
10	車両の停車場等				
11	神社・寺院・教会	55	55	56	56
12	イ 工場・作業場	480	462	468	467
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ				
13	イ 自動車車庫・駐車場	39	39	40	40
	ロ 飛行機等の格納庫				
14	倉庫	417	420	424	431
15	前各項に該当しない事業場	407	414	429	436
16	イ 特定複合用途防火対象物	149	160	169	170
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	91	95	95	99
16の2	地下街				
16の3	準地下街				
17	重要文化財	4	4	4	4
18	アーケード（50m以上）	2	2	2	2
19	市町村長の指定する山林				
20	自治省令で定める舟車				
合 計		3,335	3,424	3,505	3,530



## 管内地域別防火対象物の現況

(令和3年3月31日現在)

対象物の種類		中津地域	三光地域	本耶馬溪地域	耶馬溪地域	山国地域	合計
1	イ 劇場・映画館等	7	2				9
	ロ 公会堂・集会場	57	6	7	13	5	88
2	イ キャバレー・ナイトクラブ等						
	ロ 遊技場・ダンスホール	14	1				15
	ハ 性風俗関連特殊営業を含む店舗等						
	ニ カラオケボックス等個室において業務を営む店舗等	4					4
3	イ 待合・料理店	5					5
	ロ 飲食店	100	6	6	9	2	123
4	百貨店・マーケット	155	2	3	2	2	164
5	イ 旅館・ホテル、その他これに属するもの	26	16	18	15	16	91
	ロ 寄宿舎・共同住宅	911	5	3	1		920
6	イ 病院・診療所	64	3		4	2	73
	ロ 老人短期入所施設等	37	10	3	1	2	53
	ハ 老人デイサービスセンター等	94	6	2	8	4	114
	ニ 幼稚園・特別支援学校	16	1				17
7	小中学校等各種学校	89	13	6	17	4	129
8	図書館・博物館・美術館	8		1	3		12
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場						
	ロ 公衆浴場	5	1		1	1	8
10	車両の停車場等						
11	神社・寺院・教会	48	1	4	2	1	56
12	イ 工場・作業場	355	54	11	33	14	467
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ						
13	イ 自動車車庫・駐車場	35	2	1	1	1	40
	ロ 飛行機等の格納庫						
14	倉庫	370	29	8	18	6	431
15	前各号に該当しない事業場	336	19	15	57	9	436
16	イ 1項～4項、5項イ、6項、9項イを含む複合用途防火対象物	159	3	2	4	2	170
	ロ 上記以外の複合用途防火対象物	94	1	3		1	99
16の2	地下街						
16の3	準地下街						
17	重要文化財	3				1	4
18	アーケード（50m以上）	2					2
19	市町村長の指定する山林						
20	自治省令で定める舟車						
合計		2,994	181	93	189	73	3,530

消防用設備等点検結果報告書の届出が必要な対象物

(令和3年3月31日現在)

対象物の種類		対象物数		総数	
		1,000㎡未満	1,000㎡以上		
1	イ	劇場・映画館等	6	3	9
	ロ	公会堂・集会場	77	9	86
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場・ダンスホール		15	15
	ハ	性風俗関連特殊営業を含む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等個室において業務を営む店舗等	3	1	4
3	イ	待合・料理店	3	2	5
	ロ	飲食店	120		120
4		百貨店・マーケット	116	43	159
5	イ	旅館・ホテル、その他これに属するもの	81	10	91
	ロ	寄宿舎・共同住宅	817	88	905
6	イ	病院・診療所	55	17	72
	ロ	老人短期入所施設等	20	33	53
	ハ	老人デイサービスセンター等	106	4	110
	ニ	幼稚園・特別支援学校	12	5	17
7		小中学校等各種学校	55	70	125
8		図書館・博物館・美術館	10	2	12
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場			
	ロ	公衆浴場	7	1	8
10		車両の停車場等			
11		神社・寺院・教会	42	5	47
12	イ	工場・作業場	342	120	462
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫・駐車場	34	6	40
	ロ	飛行機等の格納庫			
14		倉庫	361	60	421
15		前各号に該当しない事業場	212	74	286
16	イ	1項～4項、5項イ、6項、9項イを含む複合用途防火対象物	116	27	143
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	41	8	49
16の2		地下街			
16の3		準地下街			
17		重要文化財	4		4
18		アーケード(50m以上)	1	1	2
19		市町村長の指定する山林			
		合 計	2,641	604	3,245

消防同意件数（計画変更を含む）

（令和2年度中）

対象物の種類		新築	増築	改築	移転	用途変更	修繕	模様替	合計
1	イ	劇場・映画館等							
	ロ	公会堂・集会場	1			1			2
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等							
	ロ	遊技場・ダンスホール							
	ハ	性風俗関連特殊営業を含む店舗等							
	ニ	カラオケボックス等個室において業務を営む店舗等							
3	イ	待合・料理店							
	ロ	飲食店	2						2
4		百貨店・マーケット	3						3
5	イ	旅館・ホテル、その他これに属するもの							
	ロ	寄宿舎・共同住宅	15						15
6	イ	病院・診療所		2					2
	ロ	老人短期入所施設等	3						3
	ハ	老人デイサービスセンター等	5	1		1			7
	ニ	幼稚園・特別支援学校							
7		小中学校等各種学校		1					1
8		図書館・博物館・美術館							
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場							
	ロ	公衆浴場							
10		車両の停車場等							
11		神社・寺院・教会		2					2
12	イ	工場・作業場	4	8					12
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫・駐車場							
	ロ	飛行機等の格納庫							
14		倉庫	5						5
15		前各号に該当しない事業場	10						10
16	イ	1項～4項、5項イ、6項、9項イを含む複合用途防火対象物	1	1					2
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	2	2					4
16の2		地下街							
16の3		準地下街							
17		重要文化財							
18		アーケード（50m以上）							
19		市町村長の指定する山林							
合 計			51	17		2			70

# 中高層建築物

(令和3年3月31日現在)

対象物の種類		4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階以上	計
1	イ 劇場・映画館等								
	ロ 公会堂・集会場		1						1
2	イ キャバレー・ナイトクラブ等								
	ロ 遊技場・ダンスホール			1					1
	ハ 性風俗関連特殊営業を含む店舗等								
	ニ カラオケボックス等個室において業務を営む店舗等			1					1
3	イ 待合・料理店								
	ロ 飲食店	2							2
4	百貨店・マーケット	2	1						3
5	イ 旅館・ホテル、その他これに属するもの		1					5	6
	ロ 寄宿舎・共同住宅	41	10	8	10	5	2	16	92
6	イ 病院・診療所	2	7						9
	ロ 老人短期入所施設等	2	3						5
	ハ 老人デイサービスセンター等	1							1
	ニ 幼稚園・特別支援学校								
7	小中学校等各種学校	7							7
8	図書館・博物館・美術館		1						1
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場								
	ロ 公衆浴場								
10	車両の停車場等								
11	神社・寺院・教会								
12	イ 工場・作業場	1							1
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ								
13	イ 自動車車庫・駐車場	1							1
	ロ 飛行機等の格納庫								
14	倉庫	2							2
15	前各号に該当しない事業場	13	2	4					19
16	イ 1項～4項、5項イ、6項、9項イを含む複合用途防火対象物	9	5	3	5	2		2	26
	ロ 上記以外の複合用途防火対象物	3			2	1		2	8
合 計		86	31	17	17	8	2	25	186

防火管理者選任を要する対象物

(令和3年3月31日現在)

対象物の種類		甲種防火管理者を選任しなければならない対象物	乙種防火管理者を選任しなければならない対象物	計	
1	イ	劇場・映画館等	5	2	7
	ロ	公会堂・集会場	47	30	77
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場・ダンスホール	15		15
	ハ	性風俗関連特殊営業を含む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等個室において業務を営む店舗等	4		4
3	イ	待合・料理店	4		4
	ロ	飲食店	32	50	82
4		百貨店・マーケット	85	42	127
5	イ	旅館・ホテル、その他これに属するもの	18	2	20
	ロ	寄宿舎・共同住宅	61		61
6	イ	病院・診療所	31	4	35
	ロ	老人短期入所施設等	40	1	41
	ハ	老人デイサービスセンター等	40	7	47
	ニ	幼稚園・特別支援学校	10	2	12
7		小中学校等各種学校	35	1	36
8		図書館・博物館・美術館	4	3	7
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場			
	ロ	公衆浴場	4		4
10		車両の停車場等			
11		神社・寺院・教会	11	8	19
12	イ	工場・作業場	47		47
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫・駐車場		1	1
	ロ	飛行機等の格納庫			
14		倉庫	3	1	4
15		前各号に該当しない事業場	39	16	55
16	イ	1項～4項、5項イ、6項、9項イを含む複合用途防火対象物	54	13	67
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	13		13
16の2		地下街			
16の3		準地下街			
17		重要文化財		1	1
18		アーケード(50m以上)			
19		市町村長の指定する山林			
合計			602	184	786

各種届出事務処理状況

(令和2年度中)

	種 別	届 出 数
火を使用する設備等の設置の届出	ボイラー等設置届出	12
	変電設備設置届出	17
	発電設備設置届出	11
	蓄電池設備設置届出	13
	ネオン管灯設備設置届出	
火災とまぎらわしい行為等の届出	火災とまぎらわしい煙の届出	134
	煙火打上届出	12
	催物開催届出	19
指定数量未満の危険物等の貯蔵取扱の届出	少量危険物貯蔵取扱の届出	29
	指定可燃物貯蔵取扱の届出	13
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱の届出	液化石油ガス	12
	毒物・劇物の届出	

消 防 用 設 備 等 届 出 状 況	消 防 用 設 備 等 の 種 類	着工届	設置届	消防検査
	警報設備	非常警報設備		8
自動火災報知設備		64	113	91
ガス漏れ警報設備				
消防機関へ通報する火災報知設備		9	11	11
漏電火災警報器				
消火設備	屋内消火栓設備	3	2	2
	スプリンクラー設備	11	13	12
	水噴霧消火設備			
	泡消火設備			
	二酸化炭素消火設備	1		
	ハロゲン化物消火設備	1		1
	粉末消火設備	2	2	2
	屋外消火栓設備	2	1	1
	パッケージ型消火設備	3	2	3
	パッケージ型自動消火設備	1	1	1
動力消防ポンプ設備		1	1	
避難設備	誘導灯		43	35
	避難器具	1	3	3
消火活動上必要な施設等	消防用水			
	排煙設備			
	連結散水設備			
	連結送水管			
	非常コンセント設備			
計		98	200	171

# 危険物製造所等の施設数

(令和3年3月31日現在)

区		地域	中津地域	三光地域	本耶馬溪地域	耶馬溪地域	山国地域	計
製造所	製造所		1					1
	製造所 小計		1					1
貯蔵所	屋内貯蔵所		33	4		1		38
	屋外タンク貯蔵所		35	2		1	1	39
	屋内タンク貯蔵所		2					2
	地下タンク貯蔵所		21	5		3	3	32
	簡易タンク貯蔵所							
	移動タンク貯蔵所		12	2	5	1	1	21
	屋外貯蔵所		8					8
	貯蔵所 小計		111	13	5	6	5	140
取扱所	給油取扱所		38	5	5	4	3	55
	一般取扱所		42	2	1	1	1	47
	取扱所 小計		80	7	6	5	4	102
合計			192	20	11	11	9	243

## 危険物事務処理状況（許可又は検査の数）

（令和2年度中）

製造所等の別 区分		製造所		貯蔵所							取扱所			合計		
		製造所	小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所		小計	
許可	設置許可								2		2	1		1	3	
	変更許可	1	1	1							1	5	9	14	16	
	移動タンク	転出														
		転入														
完成	設置完成								2		2	1		1	3	
	変更完成	1	1	2			1				3	6	10	16	20	
	移動タンク	転入														
廃止届							3				3	2	2	4	7	
仮使用		1	1	1							1	5	8	13	15	
保安監督者		選任届		5	4						9	10	2	12	21	
		解任届		5	3						8	8	2	10	18	

タンク検査数							仮貯蔵・仮取扱
合計	水圧検査	小計	600ℓ以下	600ℓ～10kℓ	10kℓ～20kℓ	20kℓを超える	仮貯蔵
125	件数	99	37	57	5		
	水張検査	小計	10kℓ以下	10kℓ～1000kℓ	1000kℓ～2000kℓ	2000kℓを超える	仮取扱
	件数	26	24	2			

## 火薬類消費許可申請事務処理状況

火薬消費許可申請

（令和2年度中）

申請件数	総件数	譲受 25kg超	譲受 25kg以下	譲受 火工品	煙火 消費	譲渡	廃棄
	10	6		1	2	1	

火薬類届出	届出件数	保安責任者 選任	保安責任者 解任	保安責任者 選解任	消費年報
	9	4		3	2





---

---

# V 通信指令

---

---



## 通信指令室の概要

通信指令室は、最新のコンピュータや通信技術等を活用し、火災や救急などの119番の受付から消防隊・救急隊への出動指令のほか、災害時の情報収集、現場支援、関係者への連絡や市民への情報提供などの業務を行っています。



### 119番受付から災害活動終了までの流れ

- 通報の受付（119番を受付けると統合型位置情報システムにより指令台のディスプレイに  
↓  
通報者の住所付近の地図が表示され、災害現場を特定する。）
- 災害の決定（通報内容を確認し、火災や救急などの災害種別を決定し、119番受信中に  
↓  
関連の消防署所に予告指令を流す。）
- 出動隊編成（災害の状況を元に、自動出動指定装置や出動車両運用管理装置により、災害に  
↓  
対応できる最適な部隊を自動で編成する。）
- 出動指令（消防署所や車両に対して出動指令を発令し、災害地点の地図、指令内容など支  
↓  
援情報を指令書として出力するとともに各車両の車両運用端末装置に送信する。）
- 部隊管理（車両に搭載されたGPSにより各車両の位置情報や車載カメラによる災害活動  
↓  
状況が指令室の大型マルチモニタに表示され、出動車両の配置を確認するなど  
効率的な部隊運用を行う。）
- 支援情報（防火対象物、危険物施設や災害に応じた情報を指揮隊や活動隊へ情報発信し、  
↓  
災害活動の支援を行う。）
- 事案終了（活動終了後、サーバーに災害事案情報が保存され、保存されたデータは報告書  
の作成、統計の作成等に活用する。）

# 《令和2年119番件数》

種別 月	119番受信件数										119番以外出動件数							
	通報種別								合計	左記の119番内訳				警察直通	駆け込み	自己覚知	緊急システム	合計
	火災	救急	救助	警戒	問合せ	試験	無応答	その他		携帯電話	IP電話	専用電話	固定電話					
1月	4	274	3	3	201	36	25	7	212	81	139	121	74	27	3	8	3	115
2月	2	263		1	147	57	28	4	204	71	97	130	73	13	1	10	1	98
3月	3	247			134	69	32	4	191	88	80	130	99	8	2	1	6	116
4月	7	241	2		153	52	41	9	202	80	100	123	65	9	2	4	3	83
5月	6	176		1	131	26	34	10	171	46	92	75	58	9	4	4	7	82
6月	3	204	2	1	92	52	40	6	168	61	60	111	70	6	1	3	2	82
7月	2	267		4	208	38	24	7	218	68	150	114	82	19	1	6	4	112
8月	7	267	1	7	195	34	39	11	244	63	118	136	63	10	5	5	2	85
9月	2	228		5	147	78	31	9	211	77	88	124	69	8	2	6	6	91
10月	4	244	1	6	188	78	45	12	220	88	125	145	78	10	1	4	3	96
11月	3	261	1	3	183	73	37	7	213	83	127	145	68	13	5	4	6	96
12月	19	242	1	4	174	80	41	9	232	83	119	136	99	9	1	3	8	120
合計	62	2,914	11	35	1,953	673	417	95	2,486	889	1,295	1,490	898	141	28	58	51	1,176

## 緊急通報システム設置状況

このシステムは、一人暮らし高齢者などのお宅に緊急通報装置を設置し、緊急時に通報装置本体やペンダントのボタンを押すことで、24時間体制の通信指令室に自動で通報できるシステムです。

管内に居住する65歳以上の一人暮らしの高齢者宅を中心に705台（令和3年4月1日現在）を設置し、緊急事態の迅速な対応、高齢者などの精神的不安の解消に努めています。

## 緊急通報システムの月別受信件数

（令和2年中）

区分 月	火災	救急	試験	間違い	相談	電池切れ	停電	復電	合計
1月		3	10	18		10	24	17	82
2月		1	2	4		4	27	25	63
3月		6	23	21	1	5	19	16	91
4月		3	1	8		5	11	8	36
5月		7		7	7	10	17	14	62
6月		2	24	6	1	10	15	11	69
7月		4	38	6		26	40	30	144
8月		2	3	10		21	32	21	89
9月		6	22	2		23	43	34	130
10月		3	17	11		6	22	19	78
11月		6	26	4	1	15	26	24	102
12月		8	3	9	1	11	23	18	73
合計		51	169	106	11	146	299	237	1,019

## 緊急通報システムの地域別受信件数

（令和2年中）

区分 地域別	火災	救急	試験	間違い	相談	電池切れ	停電	復電	合計
中津地域		30	100	56	3	89	187	155	620
三光地区		6	13	7	6	11	14	14	71
耶馬溪地域		6	35	19	2	18	34	24	138
本耶馬溪地域		6	14	16		15	19	13	83
山国地域		3	7	8		13	45	31	107
合計		51	169	106	11	146	299	237	1,019

※ 間違い・・・誤ってボタンを押すなどの操作ミスや子供のいたずらなど。  
電池切れ・・・通報装置のコンセントの外れ、ペンダント送信機の電池切れ。

# 指令システム主要設備

区分	署所別			備 考
	本部 本署	耶馬溪 分 署	東 部 出張所	
指 令 シ ス テ ム 設 備	指令装置			
	(1) 指令台	3		
	(2) 自動出動指定装置	3		
	(3) 地図等検索装置	3		
	(4) 長時間録音装置	1		
	(5) 指令制御装置	1		
	(6) 非常用指令設備	1		
	(7) 署所端末装置	1	1	1
	表示盤			
	(1) 車両運用表示盤	1		
	(2) 支援情報表示盤	1		
	(3) 多目的表示盤	1		
	無線統制台	1		
	指令伝送装置			
	(1) 指令情報発信装置	1		
	(2) 指令情報出力装置	1	1	2
	(3) 液晶ディスプレイ	1	1	2
	(4) 液晶モニタ	1	1	1
	気象情報装置	1	1	
	災害情報等自動案内装置	1		
	順次指令装置	1		
	音声合成装置	1		
	出動車両運用管理装置			
	(1) 管理装置	2		
	(2) 車両運用端末装置	10	5	4
	システム監視装置	1		
	電源装置			
	(1) 無停電電源装置	1	1	1
	(2) 直流電源装置	1		
	(3) 非常用発動発電機	1	1	1
	統合型位置情報システム	1		
	支援情報システム			
	(1) 情報管理装置	1		
(2) 支援情報端末装置	19	3	3	
庁舎監視カメラ	3	2	2	
望楼カメラ	1			
現場映像伝送装置				
(1) 映像配信サーバ	1			
(2) 映像受信装置・分配器	1			
(3) 車上カメラ	1	1	2	
(4) タブレットカメラ	1			
駆込み通報装置	1	1	1	
液晶モニタ	1			
災害情報メール配信システム	1			
サイレン吹鳴接続装置	1			

---

---

# VI 火 災

---

---





## 火災概要

令和2年中の管内の火災件数は、52件で前年の46件に比べ、6件増加しています。

「建物火災」が26件で、前年に比べ4件の増加。「林野火災」が5件で、前年に比べ2件の減少。「車両火災」が2件で、前年に比べ3件の減少。ごみなどが焼損した「その他の火災」が19件で、前年に比べ7件増加しています。

「船舶火災」は発生していません。

## 火災損害状況

令和2年中の火災による総損害額は、50,743千円で昨年より473,523千円減となっています。また、建物火災が損害額の約68%を占めています。

### 【 前年との比較 】

区分	出火件数					建物焼損面積		林野焼損面積（a）	損害額（千円）	
	計	建物	林野	車両	船舶	その他	焼損床面積（㎡）			焼損表面積（㎡）
令和2年	52	26	5	2		19	744	80	106	50,743
令和元年	46	22	7	5		12	1,441	62	38	524,266
増減	6	4	-2	-3		7	-697	18	68	-473,523

## 焼損面積

建物焼損床面積は、744㎡で前年の1,441㎡と比較して、697㎡（48%）減少しています。建物焼損表面積は、80㎡で前年の62㎡と比較して、18㎡（29%）増加しています。また、林野焼損面積は、106aで前年の38aと比較して、68a増加しています。

## 出火原因状況

出火に至った主な原因は、「火入れ」が13件で1位、「タバコ」・「こんろ」が各4件で2位。次いで「火あそび」が3件で3位となっています。

# 年次別火災統計

区分 年	火災件数				焼損棟数				建物				林野		車両		爆発	その他	損害額	
	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計	焼損面積	建物	収容物	損害額	台数	損害額	損害額	合計	死者
												(㎡)	(千円)	(千円)	(千円)	(台)	(千円)	(千円)	(千円)	(人)
平成22年	18	8	1		15	42	9	3	10	7	29	1,105	32,635	11,269	43,904	2	65		43,969	2
平成23年	24	14	2		12	53	9	9	7	11	36	2,268	319,321	50,460	370,016	2	142	16	372,268	1
平成24年	20	6			13	39		4	8	10	22	1,952	37,914	17,591	55,505			156	55,737	
平成25年	31	1	6		26	64	16	4	7	16	43	1,322	46,676	14,654	61,330	7	9,020	59	71,182	
平成26年	14		5		18	37	6	1	10	9	26	842	38,142	6,161	44,303	5	1,473	2	45,778	3
平成27年	12		3		9	24	4	1	3	9	17	391	6,127	2,383	8,510	3	142	3	8,655	3
平成28年	15	1	2		10	28	6	1	5	8	20	653	13,697	7,849	21,546	4	776	48	22,370	
平成29年	18	1	1		18	38	7		5	12	24	718	14,799	6,337	21,136	1	100	153	21,967	
平成30年	16	3			18	37	13	3	7	6	29	1,401	64,712	7,622	72,334	2	734	1,975	75,043	
令和元年	22	7	5		12	46	6	1	9	11	27	1,441	62,665	450,261	512,926	10	8,435	1,557	524,266	1
令和2年	26	5	2		19	52	4	2	11	17	34	744	19,942	14,472	34,414	2	200	111	50,743	

## 出火原因

順位	令和2年		順位	令和元年	
	原因	件数		原因	件数
1	火入れ	13	1	火入れ	13
2	タバコ	4	2	タバコ	3
	こんろ	4		電気機器	3
3	火あそび	3	3	電気装置	2
4	排気管	2		配線器具	2
5	ストーブ	1		たき火	2
	電気機器	1	4	マッチ・ライター	1
	マッチ・ライター	1		こんろ	1
	たき火	1		電灯・電話等の配線	1
	灯火	1		炉	1
	放火の疑い	1		溶接機・切断機	1
—	その他	8		放火	1
—	不明・調査中	12	—	その他	8
			—	不明・調査中	7
合計		52	合計		46

## 月別火災発生件数

(令和2年中)

月	地域					件数	焼損面積			車両(台)	損害額(千円)
	中津地域	三光地域	本耶馬溪地域	耶馬溪地域	山国地域		建物(m <sup>2</sup> )		林野(a)		
							床面積	表面積			
1月	3				1	4	25			1	410
2月											
3月	4					4	9	1			1,073
4月	4	1	2	2		9		2	76		258
5月	4				2	6			25	1	1,324
6月	1					1					3
7月	1					1					2,418
8月	5					5	27	7			8,356
9月	1			1		2					928
10月	6					6	24				1,676
11月	3					3	233	69			12,972
12月	8		1	1	1	11	426	1	5		21,325
計	40	1	3	4	4	52	744	80	106	2	50,743

# 地域別の火災発生状況及び被災状況

(令和2年中)

区分 地域	火災種別			焼損棟数			焼損程度			罹災人員		死傷者						
	建物	林野	車両	船舶	その他	計	全焼	半焼	焼部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	計	死者	負傷者	
中津地域	24	1	1		14	40	3	2	11	16	32	2	1	9	12			3
三光地域					1	1												
本耶馬溪地域	1				2	3				1	1							
耶馬溪地域		3			1	4												
山国地域	1	1	1		1	4	1				1							
計	26	5	2		19	52	4	2	11	17	34	2	1	9	12	29		3

(令和2年中)

区分 地域	建物			林野		車両		爆発		その他		合計損害額 (千円)
	面積 (㎡)	床面積	損害額 (千円)	面積 (a)	損害額 (千円)	台数 (台)	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	損害額 (千円)	損害額 (千円)	
中津地域	719	80	19,696	2		1	150		111		14,571	48,987
三光地域												
本耶馬溪地域												
耶馬溪地域				79	137					928		1,065
山国地域	25		246	25	376	1	50			6		691
計	744	80	19,942	106	513	2	200		111	15,505		50,743

## 時間帯別出火件数

(令和2年中)

時間帯	件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
0-2	3	1				1			1				
2-4	1					1							
4-6													
6-8	1						1						
8-10	1								1				
10-12	7	1				2	1					1	2
12-14	9	1			1	1					1		5
14-16	12	1		2	5				2		1		1
16-18	7			1	2			1			1	1	1
18-20	2											1	1
20-22	4			1							2		1
22-24	1								1				
不明	4				1	1				1	1		
	52	4		4	9	6	2	1	5	1	6	3	11

## 曜日別出火件数

(令和2年中)

曜日	件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日	9	1			1	1			2				4
月	8	1					1	1	3				2
火	6			1	1		1					1	2
水	8			2	2	1					1		2
木	6				2	1					1	1	1
金	7	1		1	1	1					3		
土	7	1			2	1				1	1	1	
不明	1					1							
	52	4		4	9	6	2	1	5	1	6	3	11



---

---

# VII 救 急

---

---





## 救急概要

令和2年中における救急出動件数は3,942件で、前年より146件減少しています。

搬送人員は3,646人で前年より138人減少しており、約2.4時間に1人の割合で搬送しています。

事故種別でみると、最も多いのが急病事故の2,232件で、全出動の約57%を占め、次に転院搬送の765件となり、急病と転院搬送を合わせると全体の約76%を占めています。また、救急搬送人員の年齢別では、65歳以上の高齢者が約65%と半数以上を占めています。

当消防本部では、医療機関との連携、一般市民に対する応急手当の普及を図り、一層の救命率の向上に努めています。

## 事故種別出動件数

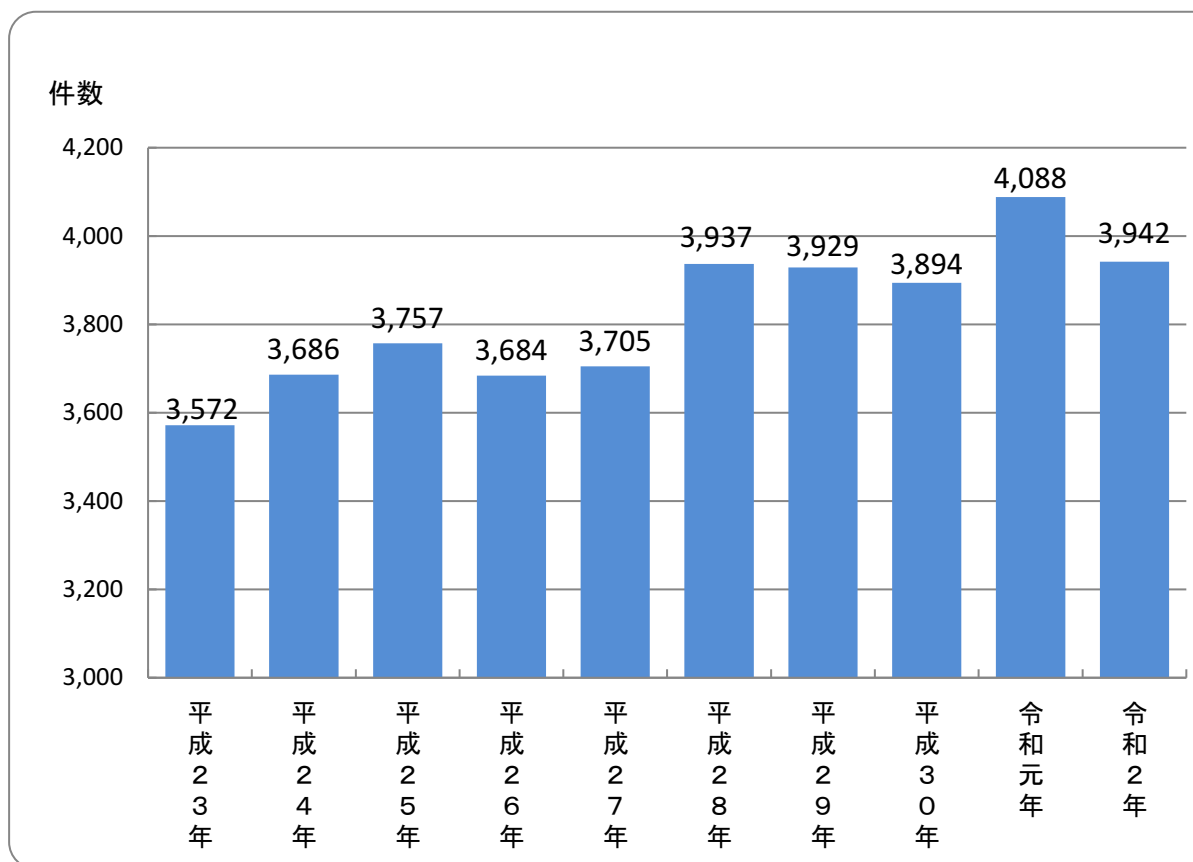
種別		年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	
事故種別	火災		2	4	2	6	4	
	自然災害				2		2	
	水難		2	4	1	5	3	
	交通		317	282	281	263	248	
	労働災害		30	21	31	35	32	
	運動競技		17	17	26	18	14	
	一般負傷		573	600	514	547	559	
	加害		19	23	15	15	17	
	自損行為		20	20	38	17	41	
	急病		2,217	2,324	2,229	2,388	2,232	
	その他	転院搬送		713	617	729	763	765
		医師搬送		2	1	2		0
資器材搬送							0	
その他			25	16	24	31	25	
不搬送			322	304	310	321	296	
搬送人員			3,649	3,657	3,617	3,784	3,646	
出動件数			3,937	3,929	3,894	4,088	3,942	

## 各種救急講習会受講者数

(令和2年度中)

種別	所属	本署	分署	出張所	合計
上級・普通救命講習		31回 (509人)	2回 (21人)	4回 (30人)	37回 (560人)
救急法の講習		15回 (625人)	2回 (24人)	3回 (60人)	20回 (709人)

## 過去10ヶ年救急出動件数の推移状況



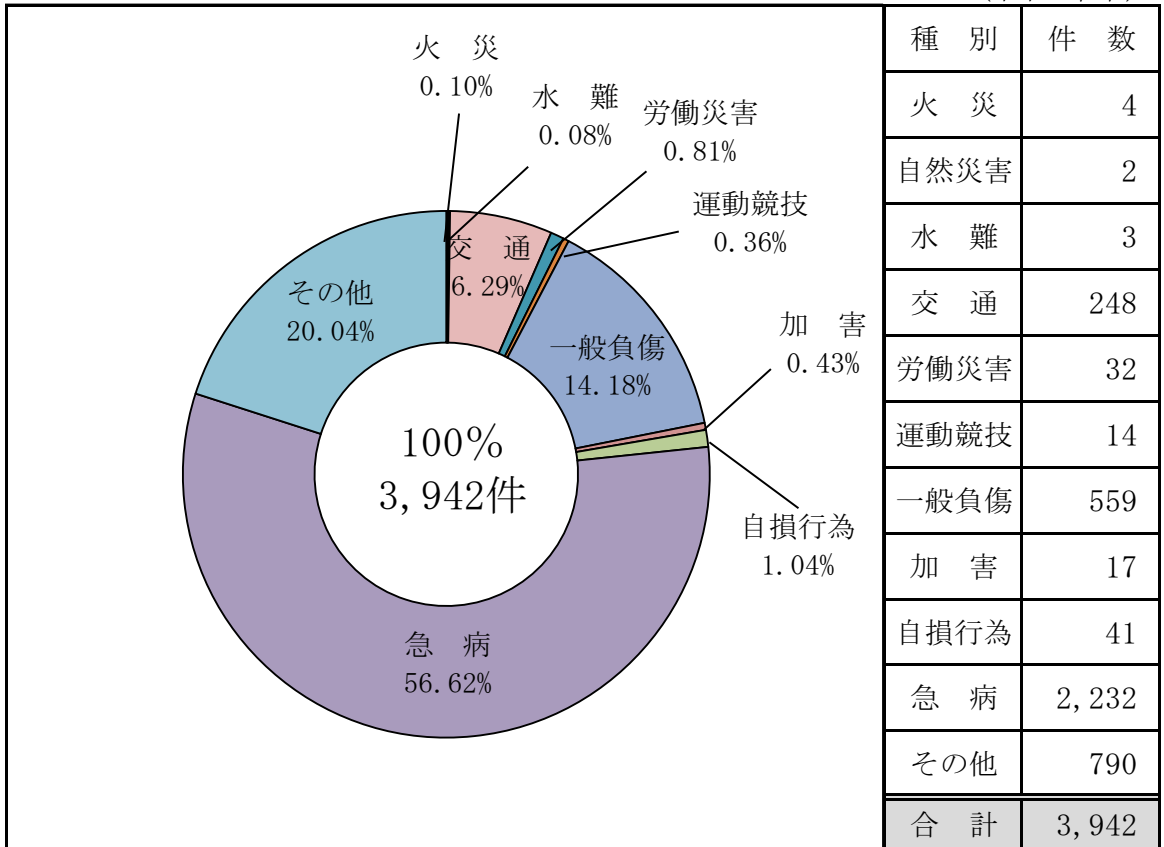
## 地域別救急出動件数

(令和2年中)

事故種別 地域	(令和2年中)											計
	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
中津地域	4		1	202	26	14	450	17	33	1,790	739	3,276
三光地域				11	1		36		2	128	19	197
本耶馬溪地域			1	13	2		20		2	96	3	137
耶馬溪地域		2		16	3		28		4	136	15	204
山国地域			1	3			25			81	14	124
その他の地域				3						1		4
計	4	2	3	248	32	14	559	17	41	2,232	790	3,942

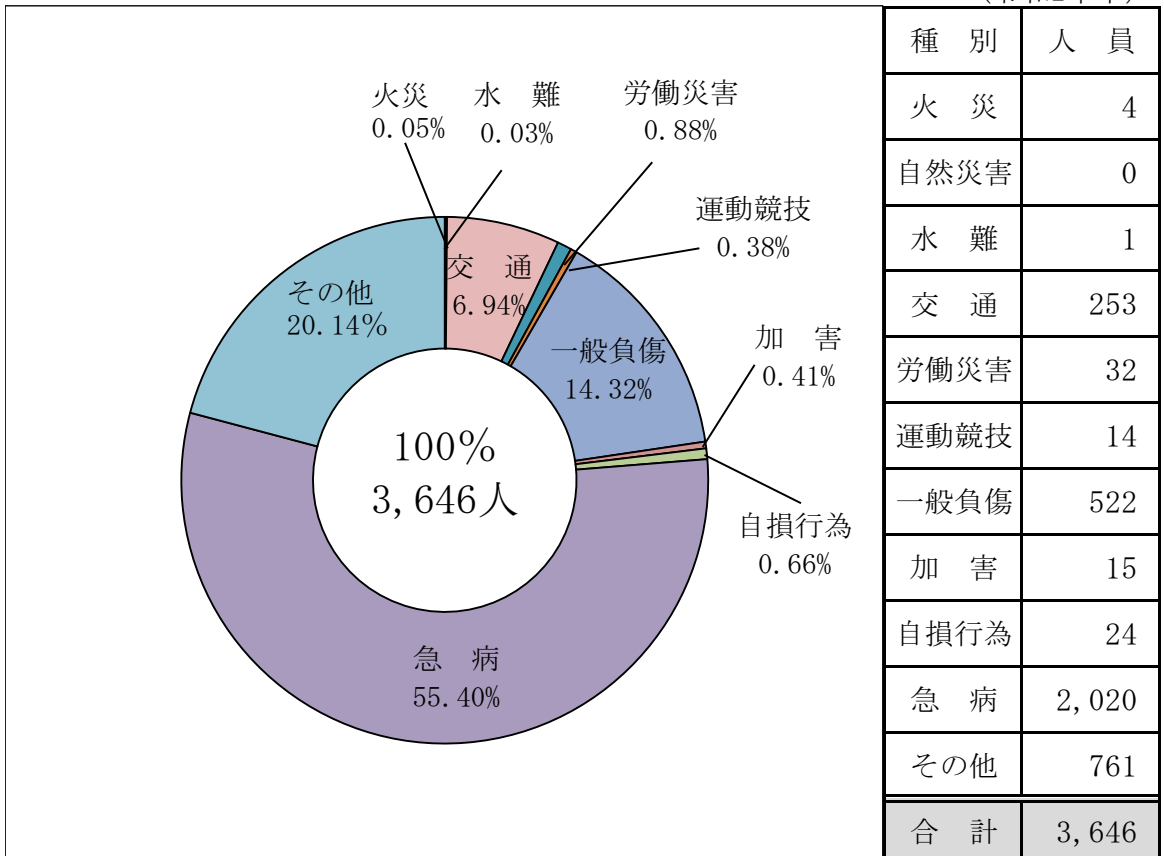
## 救急出動件数

(令和2年中)



## 救急搬送人員

(令和2年中)



## 月別出動件数

(令和2年中)

種別 月	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	計
1月				27	2		51	1	5	227	68	381
2月				27	3		53	1	4	181	75	344
3月			1	16	2		42	2	2	202	70	337
4月	1			21	3		42	4	1	188	66	326
5月	1			17			35	1	2	139	47	242
6月		2		15	4	1	34	1	3	158	63	281
7月			1	26	3	6	57	4	3	195	66	361
8月				22	2	3	36	1	6	222	54	346
9月				16	3	2	46		8	171	62	308
10月				15	4	2	50		3	177	70	321
11月	1		1	31	3		55	2	1	197	57	348
12月	1			15	3		58		3	175	92	347
計	4	2	3	248	32	14	559	17	41	2,232	790	3,942

## 時間帯別出動件数

(令和2年中)

種別 時間帯	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	計
0~2				1			26	1	5	133	10	176
2~4			1	3			20	2	2	95	11	134
4~6				11			20			92	9	132
6~8				20	1		34		2	171	15	243
8~10			1	35	6	3	76	1	6	265	84	477
10~12		2		47	7	4	77		3	252	181	573
12~14				32	4	1	55	1	2	214	167	476
14~16	1		1	35	9	5	62		1	213	107	434
16~18				24	1	1	64	3	6	226	111	436
18~20	2			20	2		50	2	3	231	45	355
20~22				15	2		40		8	197	25	287
22~24	1			5			35	7	3	143	25	219
計	4	2	3	248	32	14	559	17	41	2,232	790	3,942

## 曜日別出動件数

(令和2年中)

種別 \ 曜日	月	火	水	木	金	土	日	計
火災		2		0	1	0	1	4
自然災害						2		2
水難				2		1	0	3
交通事故	43	31	30	32	35	49	28	248
労働災害	3	9	7	4	4	4	1	32
運動競技	2	2			2	5	3	14
一般負傷	67	82	98	70	77	78	87	559
加害	2		3	2	2	6	2	17
自損行為	8	6	2	4	6	9	6	41
急病	336	311	360	319	278	311	317	2,232
転院	144	116	140	118	118	64	65	765
その他	3	2	3	4	5	4	4	25
計	608	561	643	555	528	533	514	3,942
比率	15.4%	14.2%	16.3%	14.1%	13.4%	13.5%	13.0%	100%

## 覚知別出動件数

(令和2年中)

種別 \ 覚知	119	加入電話	警察電話	駆け込み	自己覚知	緊急通報	その他	計
火災	1		1		1	1		4
自然災害	2							2
水難	1		2					3
交通事故	157	9	70	1	10		1	248
労働災害	32							32
運動競技	13				1			14
一般負傷	519	14	10	6	1	9		559
加害	11		6		0			17
自損行為	27	1	11		1		1	41
急病	2,028	105	31	21	5	35	7	2,232
その他	転院搬送	77	684		3		1	765
	医師搬送							
	資機材搬送							
	その他	15	3	2		5		25
計	2,883	816	133	28	22	50	10	3,942

## 年齢別搬送人員

(令和2年中)

種別 年齢区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	計
	新生児										3	10
乳幼児				3			33			61	12	109
少年				23		12	15			60	8	118
成人	1		1	148	28	1	87	11	21	574	173	1,045
高齢者	3			79	4	1	387	4	3	1,322	558	2,361
計	4		1	253	32	14	522	15	24	2,020	761	3,646

## 傷病程度別搬送人員

(令和2年中)

種別 傷病程度	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	計
	死亡				2	1		4		3	32	
重症	1			12	3	1	65		2	233	250	567
中等症	2		1	107	19	6	289	7	16	1,358	495	2,300
軽傷	1			132	9	7	164	8	3	397	16	737
その他												
計	4		1	253	32	14	522	15	24	2,020	761	3,646

## 医療機関別搬送人員

(令和2年中)

機関別 区分		国立	公立	公的	私的 病院	私的 診療所	その他の場所 (ヘリポート等)	計(人)
救急告示	管内		1,433		1,621			3,054
	管外	72	5	76	260			413
その他	管内				57	75		132
	管外	1	3	9	31	3		47
計		73	1,441	85	1,969	78		3,646
管内			1,433		1,678	75		3,186
管外		73	8	85	291	3		460

## 現場到着までの所要時間 (覚知から現場到着まで)

(令和2年中)

種別 \ 時間	時間					計	現場到着 平均時間
	3分未満	3~5分	5~9分	10~19分	20分以上		
急病	32	209	1,385	563	43	2,232	8分48秒
交通事故	4	18	158	62	6	248	8分54秒
一般負傷	7	53	347	143	9	559	8分48秒
その他	45	197	568	84	9	903	7分6秒
計	88	477	2,458	852	67	3,942	8分24秒

## 医療機関収容までの所要時間

(令和2年中)

種別 \ 時間	時間							計	病院収容 平均時間
	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	うち管外		
	うち管外	うち管外	うち管外	うち管外	うち管外	うち管外			
急病		69	713	1,085	151	2	2,020	35分48秒	
			7	93	50	1	151		
交通事故		7	81	144	21		253	37分6秒	
				11	6		17		
一般負傷		17	153	308	40	4	522	38分42秒	
				26	14	2	42		
その他		218	302	212	116	3	851	34分30秒	
			14	123	111	2	250		
計		311	1,249	1,749	328	9	3,646	36分30秒	
			21	253	181	5	460		



## 救急隊員が行った応急処置

(令和2年中)

種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	割合	
区分							
搬送人員	2,020	253	522	851	3,646	—	
応急処置項目	止血	9	5	31	8	53	1.5%
	固定	32	97	128	36	293	8.0%
	心電図	1,313	64	166	330	1,873	51.4%
	心肺蘇生	49	2	5	5	61	1.7%
	酸素吸入	433	13	16	207	669	18.3%
	気道確保	80	3	6	11	100	2.7%
	保温	188	16	39	58	301	8.3%
	被覆		14	78	23	115	3.2%
	血圧測定	1,908	234	487	798	3,427	94.0%
	SPO2	1,916	233	499	818	3,466	95.1%
	人工呼吸	31	1	3	5	40	1.1%
	聴診器	297	30	24	26	377	10.3%
	その他	1,757	185	455	711	3,108	85.2%



令和2年度大分県国民保護共同実動訓練の様子

---

---

## VIII 救助・指導

---

---



## 救助概要

令和2年中の救助出動件数は56件で、交通事故が30件と最も多く、全体の約50%を占めており、次いで建物による事故が14件（約25%）となっています。

また、救助人員については35名です。

救助活動に従事する隊員には強靱な体力、不屈の精神力と合わせて災害現場において救助資器材を有効に活用するための高度な技術や知識が要求されます。そのため救助隊員は、日夜たゆまぬ努力と厳しい訓練をくり返し、住民の生命身体の安全確保に努めています。

(令和2年中)

事故種別 区分	火災	交通事故	水難事故	風水害	機械による事故	建物による事故	ガス欠事故及び	爆発事故	その他の事故	合計	令和元年	増減
出動件数		30	2	1	1	14			8	56	41	15
活動件数		16	2		1	11			8	38	31	7
救助人員		17	2		1	9			6	35	32	3
出動人員		341	21	17	7	100			91	577	389	188
活動人員		174	21		7	80			88	370	299	71



## 月別救助出動件数

(令和2年中)

種別 月別	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 に よ る 事 故	酸 欠 事 故 ガ ス 及 び	爆 発 事 故	事 故 そ の 他 の	計
1月		5			1	2			1	9
2月		1							1	2
3月		2	1			1			1	5
4月		4								4
5月		1				3			1	5
6月				1		1			1	3
7月		5	1						1	7
8月		3								3
9月		1				2				3
10月						2			1	3
11月		4				2			1	7
12月		4				1				5
計		30	2	1	1	14			8	56

## 地域別救助出動件数

(令和2年中)

種別 地域	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 に よ る 事 故	酸 欠 事 故 ガ ス 及 び	爆 発 事 故	事 故 そ の 他 の	計
中津地域		20	1		1	14			4	40
三光地域		4							2	6
本耶馬溪地域		3	1						1	5
耶馬溪地域		2		1						3
山国地域		1							1	2
その他地域										
計		30	2	1	1	14			8	56

## 発生場所別救助活動状況

(令和2年中)

場所 区分	屋 内		屋 外						地 下	そ の 他	合 計
	住 居	そ の 他 の 屋 内	道 路		水 面		山 岳	そ の 他 の 屋 外			
			高 速 道 路	道 路 の 他	内 水 面	外 水 面					
出動件数	12	3	1	27	2		4	7		56	
活動件数	9	3	1	14	2		4	5		38	
救助人員	8	3	1	15	2		3	3		35	

## 訓練等指導状況

(令和2年度中)

所属 区分	本 署	耶馬溪 分 署	東 部 出張所	計 (回) (人)
	防 火 訓 練	48	13	10
5,310		448	1,228	6,986 (人)
職 場 体 験				(回)
				(人)
見 学	11	1	1	13 (回)
	439	15	54	508 (人)
地 震 体 験	2	1	1	4 (回)
	18	43	5	66 (人)

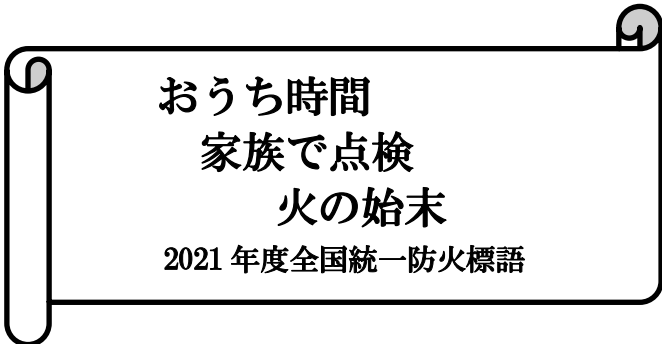


令和3年3月22日より  
運用開始した救助工作車









おうち時間  
家族で点検  
火の始末

2021 年度全国統一防火標語